

LED電球スピーカー  
LST-SE300



電球スピーカーを使っていて困ったときやわからないことがあったときに使うマニュアルです。

## 準備する

[箱の中身を確認する](#)

[各部の名前](#)

[リモコンを準備する](#)

## 接続する

[取り付けられる照明器具について](#)

### BLUETOOTH® (Android)

- [スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ペアリング済みのスマートフォンと接続する](#)
- [ワンタッチ（NFC）でスマートフォンと接続する](#)
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器との接続を切る](#)
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器を切り替える](#)

## BLUETOOTH (iPhone/iPad)

- [iPhone/iPadを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ペアリング済みのiPhone/iPadと接続する](#)

## BLUETOOTH® (ウォークマン)

- [ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ペアリング済みのウォークマンと接続する](#)
- [ワンタッチ（NFC）でウォークマンと接続する（ウォークマンNFC対応モデル）](#)
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器との接続を切る](#)
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器を切り替える](#)

## BLUETOOTH (パソコン)

- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Windows）](#)
- [パソコンをBLUETOOTH接続する（Mac）](#)

## BLUETOOTH (その他)

- [BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する](#)

## 音楽を聞く

[BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)

[BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)

[BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

## Speaker Add機能

- [Speaker Add機能とは（2台の電球スピーカーで音楽を聞く）](#)
- [Speaker Add機能を設定する](#)
- [ステレオモードとダブルモードを切り替える（Speaker Add機能）](#)
- [親機（左チャンネル）／子機（右チャンネル）を確認する（Speaker Add機能）](#)
- [Speaker Add機能を解除する](#)
- [親機の設定を解除する（Speaker Add機能）](#)
- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)

## 照明を調整する

[明るさを調整する](#)

[消灯する](#)

スリープタイマーを設定する

[スリープタイマー機能を使う](#)

専用アプリLight Plusを使う

[Light Plusでできること](#)

[Light Plusをインストールする](#)

[Light Plusを使ってBLUETOOTH接続状態を確認する](#)

[Light Plusで照明の明るさを調整する](#)

[Light Plusで照明の色を調整する](#)

[音楽と連動して照明の色を変化させる \(Light Plus\)](#)

[注意：音楽連動機能による光の点滅に関するご注意](#)

[電話の着信を照明で知らせる \(着信お知らせ設定\) \(Androidスマートフォンのみ\) \(Light Plus\)](#)

[ソフトウェアをアップデートする \(Light Plus\)](#)

[スリープタイマーの時間を設定する \(Light Plus\)](#)

[ウェイクアップタイマーを設定する \(Android搭載スマートフォンのみ\) \(Light Plus\)](#)

お知らせ／主な仕様

[LED電球スピーカーの仕様](#)

[リモコンの電池を交換する](#)

[ソフトウェアバージョン確認方法について](#)

ご注意

[使用上のご注意](#)

[防水について](#)

[BLUETOOTH機器について](#)

[BLUETOOTH無線技術について](#)

[商標について](#)

[アフターサービス・お問い合わせ](#)

困ったときは

Q&A

[Q. 何台まで機器登録 \(ペアリング\) できますか？](#)

[Q. BLUETOOTH機器と接続するたびに、機器登録 \(ペアリング\) する必要がありますか？](#)

- Q. [機器登録（ペアリング）や接続ができないときは](#)
- Q. [リモコンが使用できないときは](#)
- Q. [BLUETOOTH通信が可能な距離はどのくらいですか？](#)
- Q. [LED電球スピーカーのお手入れはどのように行いますか？](#)
- Q. [LST-SE300は他のLED電球スピーカーと接続できますか？](#)

## [故障かな？と思ったら](#)

### 音（音声）

- [音が出ない、音が小さい](#)
- [音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる](#)
- [音声と映像のずれが気になる](#)

### 照明

- [照明が一定周期で赤く点滅している](#)
- [照明が点灯しない](#)

### リモコン

- [リモコン操作を受け付けない](#)

### ペアリング

- [機器登録（ペアリング）やBLUETOOTH接続ができない](#)

### ワンタッチ接続（NFC）

- [ワンタッチ接続（NFC）できない](#)

### Speaker Add機能

- [Speaker Add機能が設定できない](#)
- [Speaker Add機能でどちらの電球スピーカーを親機に設定したか、わからない](#)
- [Speaker Add機能で再生中に音が途切れる、音が小さい](#)

### 専用アプリLight Plus

- [Light Plusについて](#)

### リセット

- [電球スピーカーをリセットする](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## 箱の中身を確認する

---

箱を開けたら、本体と付属品がそろっているか確認してください。

万一、不足している場合はお買い上げ店にご相談ください。

- 本体
- リモコン
- リモコン用リチウム電池（CR2032、リモコンに装着済み、お試し用）
- スタートガイド  
BLUETOOTH経由での接続方法や基本的な使いかたを説明しています。
- リファレンスガイド  
使用上のご注意や主な仕様を記載しています。

LED電球スピーカー  
LST-SE300

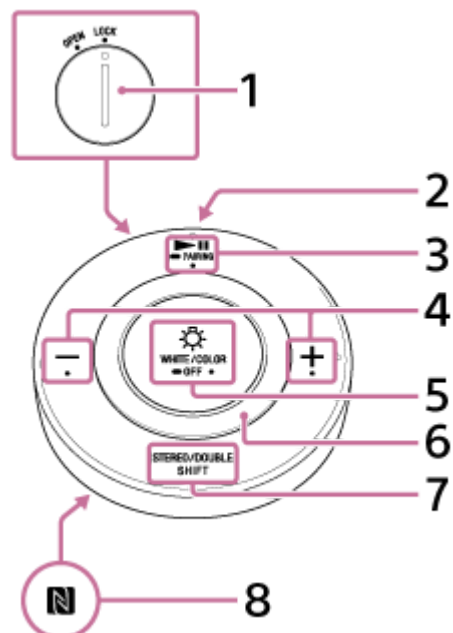
## 各部の名前

### 本体



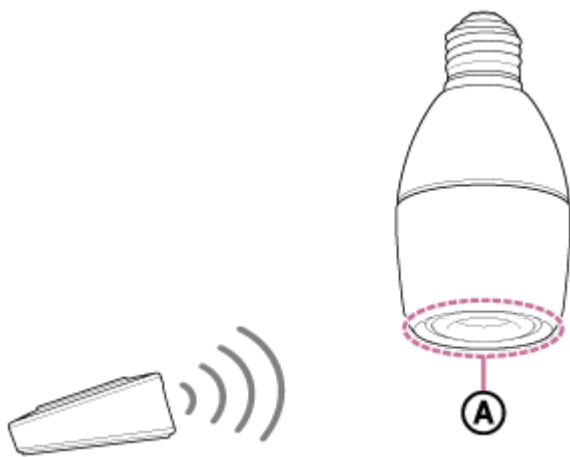
1. 口金
2. リモコン受光部
3. スピーカー

### リモコン



1. 電池ぶた（リモコン裏面）
2. リモコン送信部

図のように本体のリモコン受光部（㉒）に向けて操作してください。



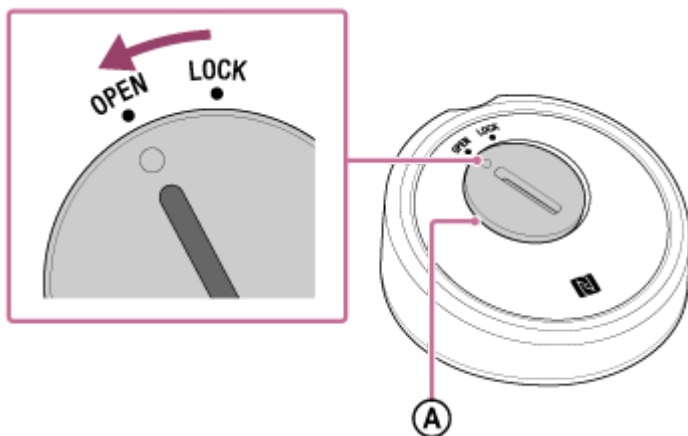
3. **▶|| (再生/一時停止) / ■ PAIRING (ペアリング) ボタン**  
音楽を再生/一時停止します。長く押すと、機器登録 (ペアリング) モードに切り替わります。その場合は、電球スピーカーからペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。
4. **音量- / + ボタン**  
音量を調節します。
5. **☆ WHITE/COLOR (白/カラー) / ■ OFF (消灯) ボタン**  
押すたびに、電球スピーカーの照明を点灯/カラーモード/消灯と切り替えます。長く押すと消灯し、BLUETOOTH接続を切断します。(長く押して消灯した場合は、再度点灯するときに、電球スピーカーが操作を受け付けるまでに時間がかかります。)  
STEREO/DOUBLE (モード切替) / SHIFT (シフト) ボタンと 同時に押すと、スリープタイマーを設定します。
6. **調光/カラー調整リング**  
明るさを調節します。右に回すと明るく、左に回すと暗くなります。カラーモードのときは、色を調整します。
7. **STEREO/DOUBLE (モード切替) / SHIFT (シフト) ボタン**  
Speaker Add機能でステレオモードとダブルモードを切り替えます。  
また、他のボタンと同時に押してシフトボタンとして機能します。シフトボタンの機能についてはリモコンの裏面をご覧ください。
8. **Nマーク (リモコン裏面)**  
ワンタッチ接続 (NFC) 時にタッチします。

リモコンを連続して操作すると、電池の特性上、一時的にリモコンが効きにくくなる場合があります。その場合は数分間放置してから操作してください。

## リモコンを準備する

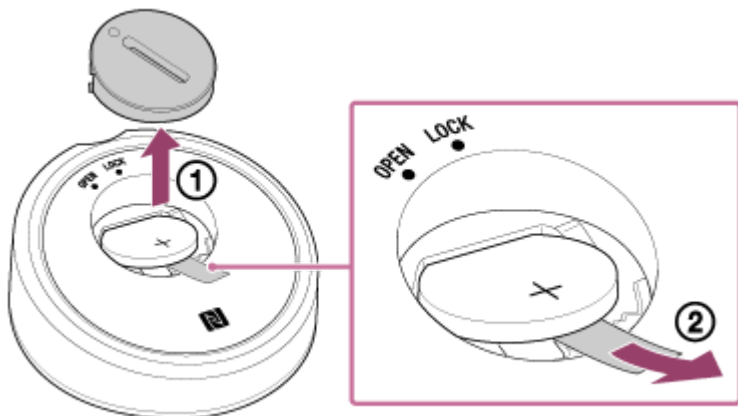
お買い上げ時にはリモコンに電池が内蔵されています。初めてご使用になるときは、下記の手順に従って、必ず保護シートを取り除いてください。

- ① リモコン裏面の電池ぶたの溝にコインなどを差し込んで左に回し、印をOPENに合わせる。

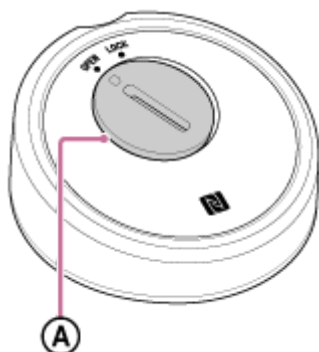


電池ぶたの左側が少し浮いた状態になります (A)。

- ② 電池ぶたを開けて (①)、電池の下の保護シートを取り外す (②)。

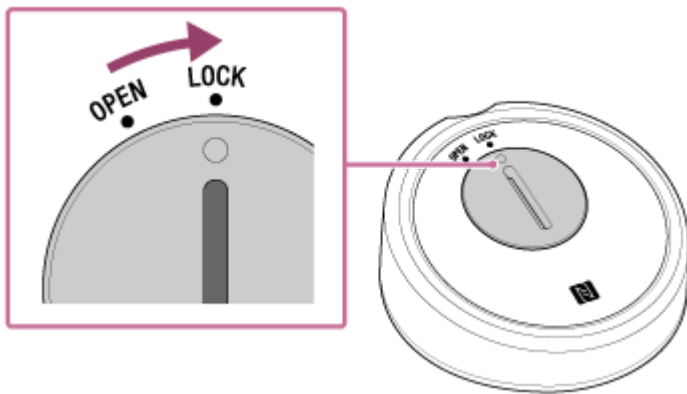


- ③ 電池を元通りにはめて、電池ぶたの印をOPENに合わせる。



電池ぶたの左側が少し浮いた状態になります (A)。

- 4 電池ぶたを右に回し、印をLOCKに合わせる。



E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## 取り付けられる照明器具について

電球スピーカーは、通常の白熱電球とは明るさや光の広がりかた、重量などが異なります。照明器具を選ぶ際は、以下の点に充分注意してください。

### 照明について

- 多灯器具や可変式の電気スタンドに取り付ける場合は、電球スピーカーの重さで器具が傾いたりしないよう、十分な強度のある器具をお選びください。
- 多灯器具に通常の電球と合わせて取り付けると、明るさや光の色合いが他の電球とは異なりますのでご注意ください。
- 照明器具と口金のサイズが異なる場合は、市販品の口金変換アダプターを使用すると、電球スピーカーを取り付けられる場合があります。

### 音響について

- 照明器具の傘が電球スピーカーのスピーカー部分を覆っているなど、開口部の狭い器具を使用すると、音がこもって聞こえる場合があります。より良い音質を得るため、できるだけ開口部が広い器具をお選びください。
- 可変式の電気スタンドに取り付ける場合は、音による振動でスタンドが揺れ、音質に影響することがあります。十分な強度のある電気スタンドをお選びください。

### 使用できない照明器具について

- 調光機能の付いた照明器具や回路、非常用照明器具、誘導灯器具、HIDランプ（水銀灯など）用器具、リモコンのついた照明器具  
ランプの破損や発煙、点灯回路損傷の原因となります。
- 密閉型器具など、内部や周囲の温度が高くなる器具  
電球スピーカーの寿命が短くなったり、自動的に使用電力を抑えるため明るさが低下したりする場合があります。

このほか使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります。

## スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。  
初めて電球スピーカーと組み合わせて使う場合はペアリングを行ってください。  
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

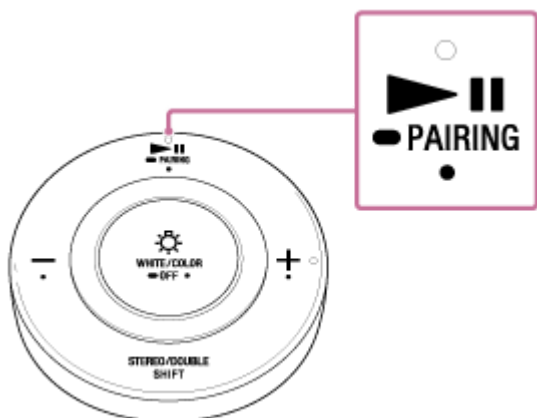
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出るのを防ぐために、Android搭載スマートフォンの音楽再生を停止する。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。



- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを押ただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

### 3 Android搭載スマートフォンで電球スピーカーを検索する。

1. [設定] - [機器接続] をタッチする。
2. [Bluetooth] をタッチする。
3. [● (オフ)] をタッチして [● (オン)] にする。



4. [LST-SE300] をタッチする。



[LST-SE300] が表示されない場合は、右上の [⋮] - [検索] をタッチしてください。



4 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとAndroid搭載スマートフォンが接続された状態になります。  
接続されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

## ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順②から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - 9台以上の機器をペアリングしたとき。  
電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
  - 電球スピーカーをリセットしたとき。  
すべてのペアリング情報が消去されます。

---

## 関連項目

- [ペアリング済みのスマートフォンと接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

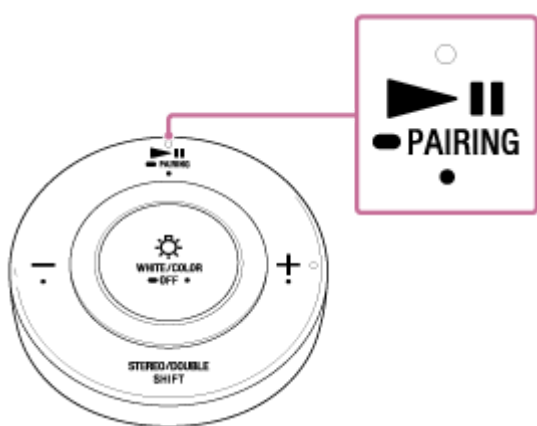
## ペアリング済みのスマートフォンと接続する

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 どの機器ともBLUETOOTH接続されていない状態で、▶|| (再生/一時停止) / ■ PAIRING (ペアリング) ボタンを押す。

最後に接続した機器に自動的に接続します。接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。



### 接続がうまくいかないときは

「[スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)」の手順 ③ と ④ を行ってください。

### 他のペアリング済みの機器と接続したいときは

接続したい機器側でBLUETOOTHの設定を行い、[LST-SE300]を選んで電球スピーカーとBLUETOOTH接続してください。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ヒント

- 電球スピーカーとスマートフォンが接続された状態で、他のペアリング済みの機器から接続を行うと、あとの機器に接続が切り替わります。

#### 関連項目

- [スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## ワンタッチ（NFC）でスマートフォンと接続する

スマートフォンで電球スピーカーのリモコンにタッチするだけで、自動的に機器登録（ペアリング）や接続ができます。

### NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

#### 1 Android搭載スマートフォンのNFC機能をオンにする。

1. [設定] - [機器接続] をタッチする。
2. [NFC] をタッチする。

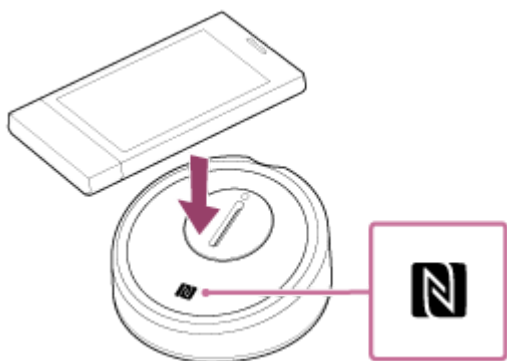


#### 2 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

#### 3 スマートフォンを電球スピーカーのリモコンにタッチする。

リモコン裏面のNマーク部分に、スマートフォンが反応するまでタッチしたままにします。



画面の指示に従って接続してください。

接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。

接続を切断するには、もう一度タッチします。電球スピーカーからBLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。

## ヒント

- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
  - － スマートフォンでアプリを起動し、リモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。
  - － スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースを外す。
- ヘッドホンなど他のNFC対応機器に接続中のNFC対応スマートフォンをリモコンにタッチすると、ワンタッチで電球スピーカーに接続を切り替えることができます（乗り替え機能）。

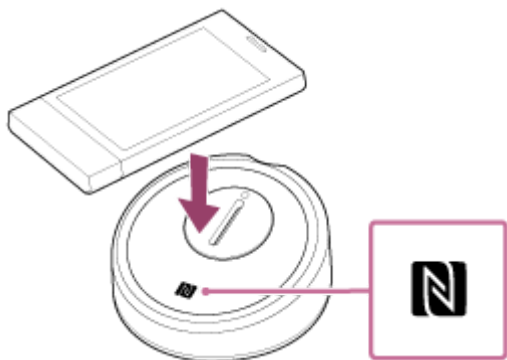
## ご注意

- ワンタッチ接続（NFC）を行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作してもワンタッチ接続はできません。
- 磁力に反応して待機モードに入るスマートフォンの場合は、ワンタッチ接続（NFC）できないことがあります。

## ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器との接続を切る

接続中のNFC対応機器で電球スピーカーのリモコンにもう一度タッチすると、接続を切ることができます。

### 1 リモコン裏面のNマーク部分に接続機器をタッチする。



接続が切断されると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。

### ヒント

- 接続がうまく切れないときは次のことを行ってください。
  - 接続機器でアプリを起動し、リモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。
  - 接続機器にケースを付けている場合は、ケースをはずす。

### ご注意

- ワンタッチ接続（NFC）や切断を行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作してもワンタッチ接続や切断はできません。

## ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器を切り替える

- 電球スピーカーと接続中のNFC対応機器を、他のNFC対応のBLUETOOTHヘッドセットやBLUETOOTHスピーカーにタッチすると、電球スピーカーとの接続が切断されて、タッチしたBLUETOOTH機器との接続に切り替えることができます。
- 切り替えがうまくいかないときは次のことを行ってください。  
接続機器でアプリを起動し、リモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。  
接続機器にケースを付けている場合は、ケースをはずす。

### ご注意

- ワンタッチ（NFC）で対応機器の切り替えを行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作しても切り替えできません。

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## iPhone/iPadを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。  
初めて電球スピーカーと組み合わせて使う場合はペアリングを行ってください。  
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

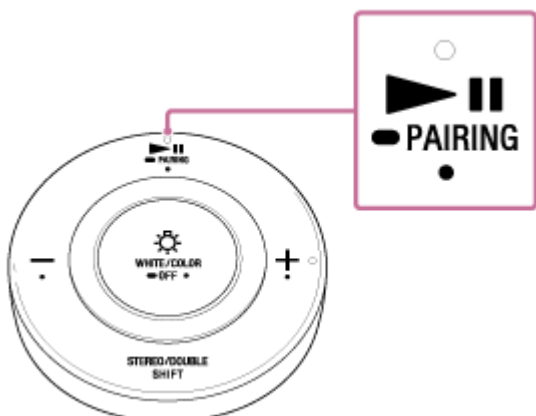
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出るのを防ぐために、iPhone/iPadの音楽再生を停止する。
- 接続するiPhone/iPadの取扱説明書を準備する。

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。



- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを押ただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

### 3 iPhone/iPadで電球スピーカーを検索する。

1. [設定] をタッチする。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. [○] をタッチして [●] にする。



#### 4 [LST-SE300] をタッチする。



パスキー\*を要求された場合は「0000」を入力してください。

iPhone/iPadの画面に[LST-SE300]が表示されない場合は、もう一度手順②から操作してください。

\* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

#### 5 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとiPhone/iPadが接続された状態になります。

接続されない場合は、もう一度手順②から操作してください。

### ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのiPhone/iPadの取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順②から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - 9台以上の機器をペアリングしたとき。  
電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
  - 電球スピーカーをリセットしたとき。  
すべてのペアリング情報が消去されます。

### 関連項目

- [ペアリング済みのiPhone/iPadと接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

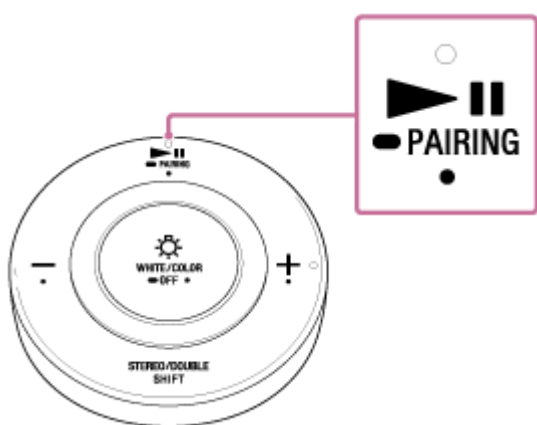
## ペアリング済みのiPhone/iPadと接続する

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 どの機器ともBLUETOOTH接続されていない状態で、▶|| (再生/一時停止) / ■ PAIRING (ペアリング) ボタンを押す。

最後に接続した機器に自動的に接続します。接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。



### 接続がうまくいかないときは

「iPhone/iPadを機器登録 (ペアリング) してから接続する」の手順 ③ ~ ⑤ を行ってください。

### 他のペアリング済みの機器と接続したいときは

接続したい機器側でBLUETOOTHの設定を行い、[LST-SE300]を選んで電球スピーカーとBLUETOOTH接続してください。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ヒント

- 電球スピーカーとiPhone/iPadが接続された状態で、他のペアリング済みの機器から接続を行うと、あとの機器に接続が切り替わります。

#### 関連項目

- [iPhone/iPadを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには \(使い終わるには\)](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。  
初めて電球スピーカーと組み合わせて使う場合はペアリングを行ってください。  
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

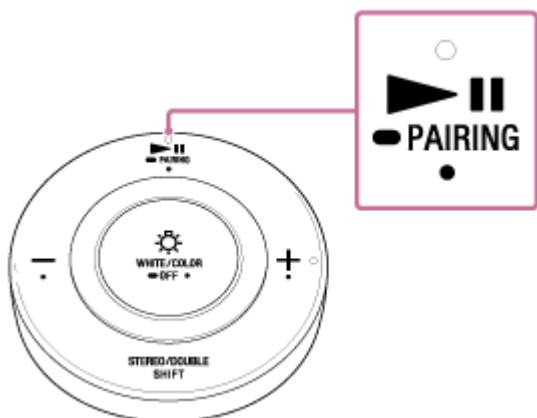
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出るのを防ぐために、ウォークマンの音楽再生を停止する。
- 接続するウォークマンの取扱説明書を準備する。

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。



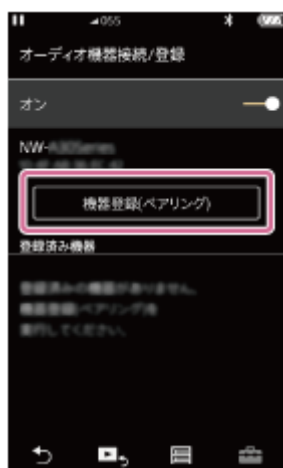
- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを押ただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

### 3 ウォークマンで電球スピーカーを検索する。

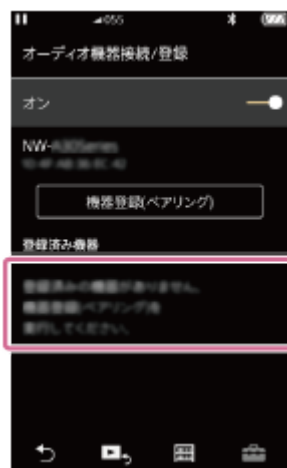
1. ライブラリ画面で [  （オプション／設定） ] - [  設定 ] - [ Bluetooth ] - [ オーディオ機器接続／登録 ] を選択する。
2. BLUETOOTHスイッチをタッチしてBLUETOOTH機能をオンにする。



3. [機器登録（ペアリング）] をタッチする。



4. [LST-SE300] をタッチする。



パスキー\*を要求された場合は「0000」を入力してください。

ウォークマンの画面に [LST-SE300] が表示されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

\* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

#### 4 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとウォークマンが接続された状態になります。

接続されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

### ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順②から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - － 9台以上の機器をペアリングしたとき。  
電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - － 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
  - － 電球スピーカーをリセットしたとき。  
すべてのペアリング情報が消去されます。

## 関連項目

- [ペアリング済みのウォークマンと接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

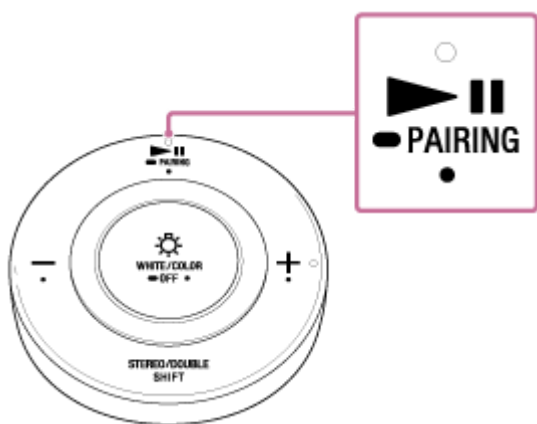
## ペアリング済みのウォークマンと接続する

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 どの機器ともBLUETOOTH接続されていない状態で、▶|| (再生/一時停止) / ■ PAIRING (ペアリング) ボタンを押す。

最後に接続した機器に自動的に接続します。接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。



### 接続がうまくいかないときは

「[ウォークマンを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する](#)」の手順 ③ ~ ⑤ を行ってください。

### 他のペアリング済みの機器と接続したいときは

接続したい機器側でBLUETOOTHの設定を行い、[LST-SE300]を選んで電球スピーカーとBLUETOOTH接続してください。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ヒント

- 電球スピーカーとウォークマンが接続された状態で、他のペアリング済みの機器から接続を行うと、あとの機器に接続が切り替わります。

#### 関連項目

- [ウォークマンを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには \(使い終わるには\)](#)

## ワンタッチ（NFC）でウォークマンと接続する（ウォークマンNFC対応モデル）

NFC機能を搭載したウォークマン\*で電球スピーカーのリモコンにタッチするだけで、自動的に機器登録（ペアリング）や接続ができます。

\* 一部のNFC対応ウォークマンにはワンタッチ接続（NFC）ができないモデルがあります。詳しくは、ご使用のウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

### NFCとは

携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

### ご注意

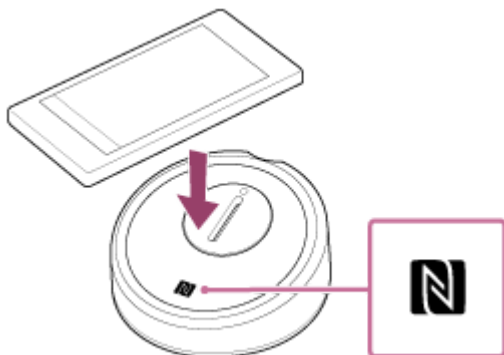
- 電球スピーカーから突然大きな音が出るのを防ぐため、電球スピーカーと接続する前に、ウォークマンの音楽再生を停止してください。

#### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

#### 2 NFC対応のウォークマンを電球スピーカーのリモコンにタッチする。

リモコン裏面のNマーク部分に、ウォークマンが反応するまでタッチしたままにします。



画面の指示に従って接続してください。

接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。

接続を切断するには、もう一度タッチします。電球スピーカーからBLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。

### ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
  - － ウォークマンをリモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。
  - － ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外す。
- ヘッドホンなど他のNFC対応機器に接続中のNFC対応ウォークマンをリモコンにタッチすると、ワンタッチで電球スピーカーに接続を切り替えることができます（乗り替え機能）。

## ご注意

- ワンタッチ接続（NFC）を行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作してもワンタッチ接続はできません。

---

## 関連項目

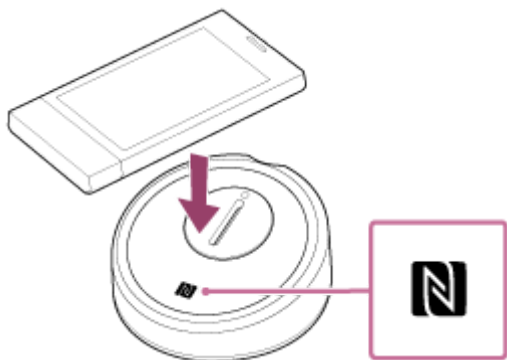
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器との接続を切る](#)
- [ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器を切り替える](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器との接続を切る

接続中のNFC対応機器で電球スピーカーのリモコンにもう一度タッチすると、接続を切ることができます。

### 1 リモコン裏面のNマーク部分に接続機器をタッチする。



接続が切断されると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。

### ヒント

- 接続がうまく切れないときは次のことを行ってください。
  - 接続機器でアプリを起動し、リモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。
  - 接続機器にケースを付けている場合は、ケースをはずす。

### ご注意

- ワンタッチ接続（NFC）や切断を行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作してもワンタッチ接続や切断はできません。

## ワンタッチ（NFC）でNFC対応機器を切り替える

- 電球スピーカーと接続中のNFC対応機器を、他のNFC対応のBLUETOOTHヘッドセットやBLUETOOTHスピーカーにタッチすると、電球スピーカーとの接続が切断されて、タッチしたBLUETOOTH機器との接続に切り替えることができます。
- 切り替えがうまくいかないときは次のことを行ってください。  
接続機器でアプリを起動し、リモコンのNマーク部分の上でゆっくり動かす。  
接続機器にケースを付けている場合は、ケースをはずす。

### ご注意

- ワンタッチ（NFC）で対応機器の切り替えを行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作しても切り替えできません。

## パソコンをBLUETOOTH接続する（Windows）

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。電球スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。

### 対応OS

Windows 10、Windows 8.1、Windows 7 SP1

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

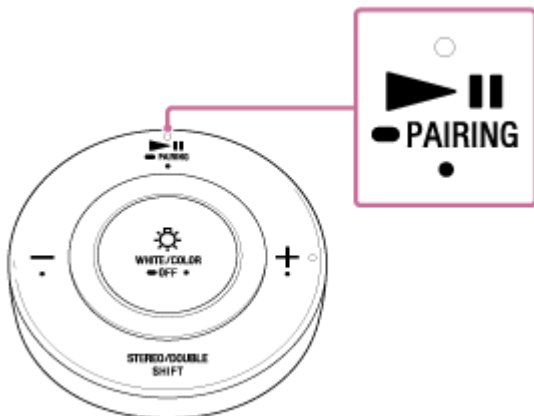
- 電球スピーカーから1 m以内の距離にパソコンを近づける。
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するパソコンと電球スピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。

#### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

#### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング）ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。

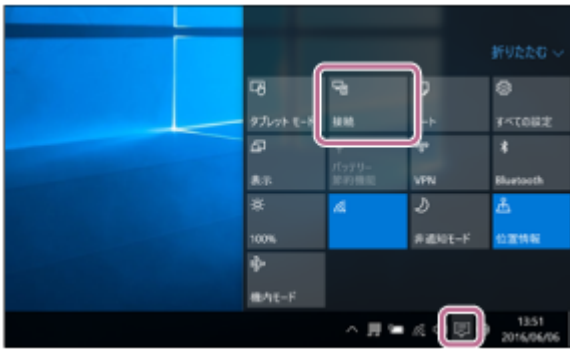


- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング）ボタンを押しただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

#### 3 パソコンで電球スピーカーを検索する準備をする。

##### Windows 10の場合

画面右下のタスクバーで [ □（アクションセンター） ] - [ 接続 ] の順に選択する。



## Windows 8.1の場合

[スタート] ボタンを右クリックし、[コントロールパネル] をクリックする。  
 [すべてのコントロールパネル項目] が表示されるので、[デバイスとプリンター] を選ぶ。  
 [すべてのコントロールパネル項目] ではなく [コントロールパネル] 画面が表示される場合は、画面右上の [表示方法] で [大きいアイコン] または [小さいアイコン] を選択してください。

## Windows 7の場合

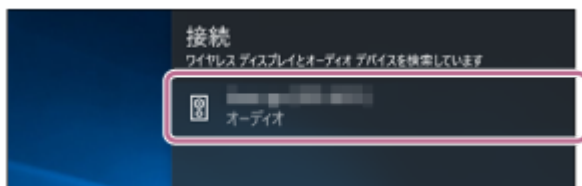
[スタート] ボタン - [デバイスとプリンター] の順にクリックする。



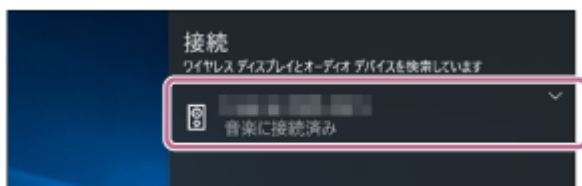
## 4 パソコンで電球スピーカーを検索する。

### Windows 10の場合

1. [LST-SE300] を選択する。



画面に [LST-SE300] が表示されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。  
 ペ어링後、自動で接続して、[音楽に接続済み] と表示されます。手順 ⑥ へ進んでください。



### Windows 8.1/Windows 7の場合

1. [デバイスの追加] をクリックする。



2. [LST-SE300] を選び [次へ] をクリックする。

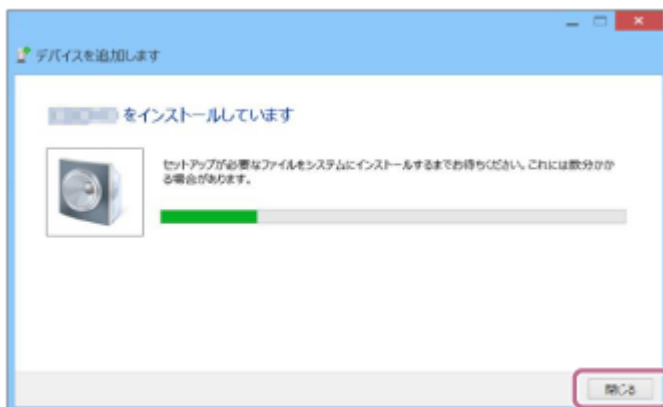


パスキー\*<sup>2</sup>を要求された場合は「0000」を入力してください。

画面に [LST-SE300] が表示されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

\*<sup>2</sup> パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

3. 下記の画面が表示されたら [閉じる] をクリックする。  
パソコンへのドライバーのインストールが始まります。



インストール中は [LST-SE300] アイコンの左下に「」マークが表示されます。「」マークが消えたら、ドライバーのインストールは完了です。次の手順 ⑤ へ進んでください。



パソコンによっては、インストールに時間がかかることがあります。

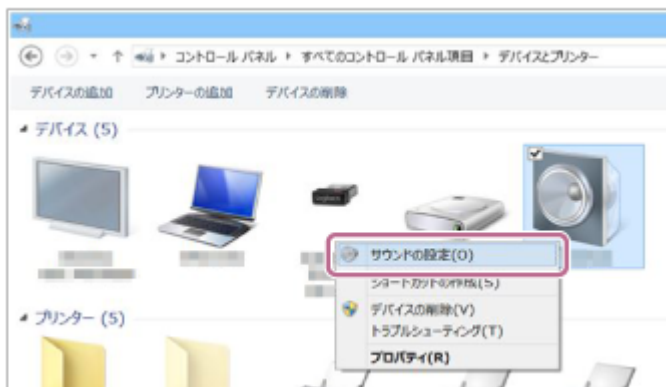
## 5 パソコンに電球スピーカーを登録する。

### Windows 10の場合

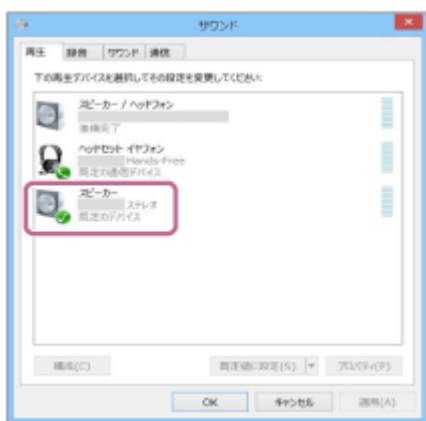
ペアリング後、自動で接続して、[音楽に接続済み]と表示されます。手順 6 へ進んでください。

### Windows 8.1の場合

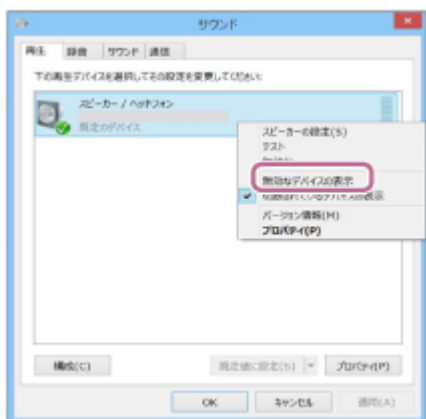
1. [デバイス] の [LST-SE300] を右クリックし、表示されたメニューから [サウンドの設定] を選択する。



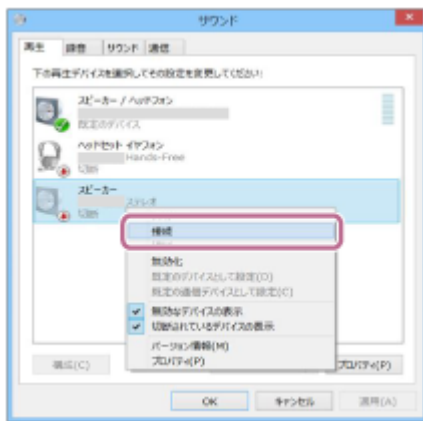
2. [サウンド] 画面の [LST-SE300ステレオ] を確認する。
  - [LST-SE300ステレオ] にチェックマーク（緑色）が付いていたら、手順 6 へ進んでください。



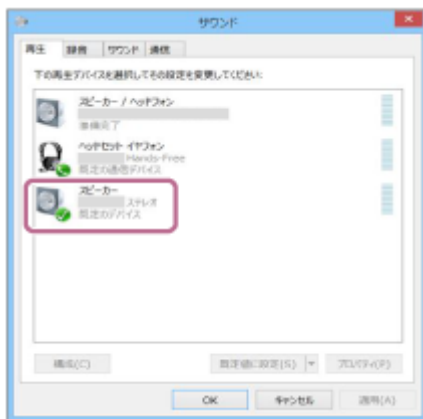
- [LST-SE300ステレオ] にチェックマーク（緑色）が付いていない場合は、次の手順3へ進んでください。
- [LST-SE300ステレオ] が表示されない場合は、[サウンド] 画面で右クリックし、表示されたメニューから [無効なデバイスの表示] を選択して、次の手順3へ進んでください。



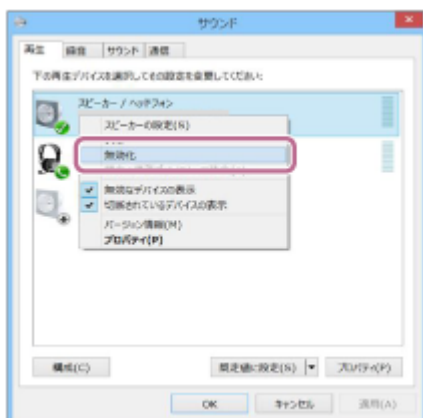
3. [LST-SE300ステレオ] を右クリックし、表示されたメニューから [接続] を選択する。



接続が完了すると、[サウンド] 画面の [LST-SE300ステレオ] にチェックマークが表示されます。手順 6 へ進んでください。



[LST-SE300ステレオ] の [接続] が押せない場合は、現在チェックマーク（緑色）表示されている [既存のデバイス] の [無効化] を選択してください。



## Windows 7の場合

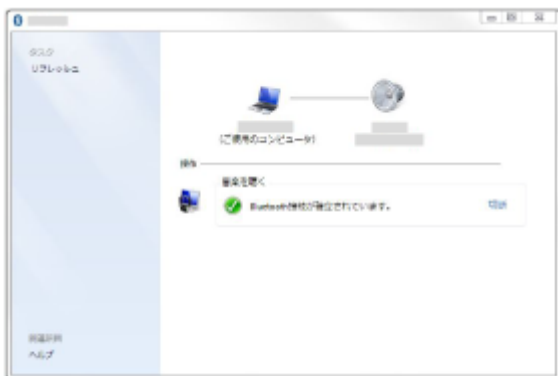
1. [デバイス] の [LST-SE300] をダブルクリックする。



2. [音楽を聴く] をクリックする。



接続が完了すると、チェックマークが表示されます。



## 6 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとパソコンが接続された状態になります。  
接続されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

### ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順 ② から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - 9台以上の機器をペアリングしたとき。
- 電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
- 電球スピーカーをリセットしたとき。
- すべてのペアリング情報が消去されます。

### 関連項目

- BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く
- BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

## パソコンをBLUETOOTH接続する（Mac）

BLUETOOTH接続したい機器を登録しておく操作をペアリング（機器登録）といいます。  
電球スピーカーと組み合わせて使う場合は、BLUETOOTH接続したい機器ごとに必ずペアリングが必要です。

### 対応OS

macOS High Sierra (バージョン10.13)

操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

- 電球スピーカーとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出ることを防ぐため、接続するパソコンと電球スピーカーの音量を小さくする。または、音楽再生を停止する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBLUETOOTHアダプターをオンにする。  
BLUETOOTHアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンが内蔵のBLUETOOTHアダプターを備えているかどうかご不明な場合は、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。  
パソコンのスピーカーが「消音（OFF）」モードになっていると、電球スピーカーからも音が出ません。
  - － パソコンのスピーカーがONモードの状態

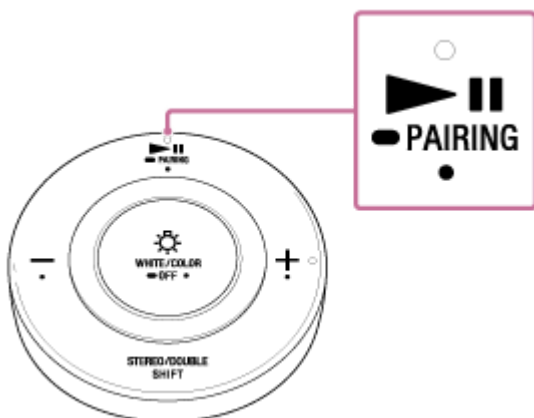


### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。



- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを押ただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

### 3 パソコンで電球スピーカーを検索する。

1. 画面右下のタスクバーで [  (システム環境設定) ] - [Bluetooth] の順に選択する。



2. Bluetooth画面から [LST-SE300] を選び、[ペアリング] をクリックする。

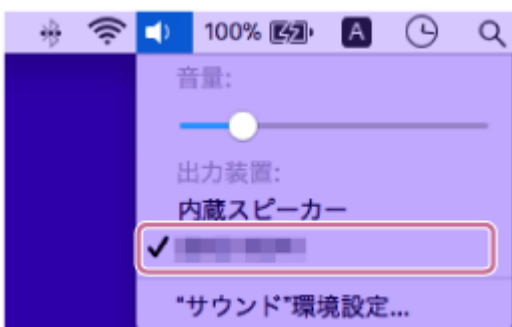


- 4 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとパソコンが接続された状態になります。  
接続されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

- 5 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、[出力装置] から [LST-SE300] を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



## ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順②から操作してください。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - 9台以上の機器をペアリングしたとき。  
電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
  - 電球スピーカーをリセットしたとき。  
すべてのペアリング情報が消去されます。

---

## 関連項目

- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## BLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作をペアリングといいます。  
初めて電球スピーカーと組み合わせて使う場合はペアリングを行ってください。  
操作をはじめる前に、以下をご確認ください。

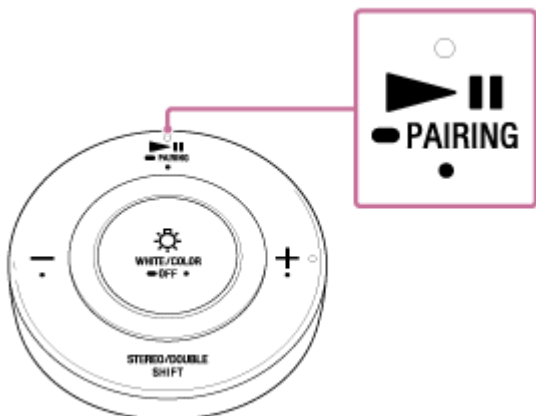
- 電球スピーカーのリモコンの電池に十分な残量がある。
- 電球スピーカーから突然大きな音が出るのを防ぐために、BLUETOOTH機器の音楽再生を停止する。
- 接続するBLUETOOTH機器の取扱説明書を準備する。

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 ▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを長く押す。

電球スピーカーから、ペアリングモードに入ったことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったらボタンから指を離してください。



- 近くに前回接続していたBLUETOOTH機器があるときは、▶||（再生／一時停止）／ ■ PAIRING（ペアリング） ボタンを押ただけで、自動的に電球スピーカーが前回接続していた機器に接続されます。別の機器と接続したい場合は、接続されたBLUETOOTH機器を操作して接続を切断してください。

### 3 BLUETOOTH機器でペアリング操作を行い、電球スピーカーを検索する。

BLUETOOTH機器の画面の、検出した機器の一覧に「LST-SE300」と表示されます。  
表示されない場合は、もう一度手順 ① から操作してください。

### 4 BLUETOOTH機器の画面に表示されている「LST-SE300」を選び、互いの機器を登録する。

パスキー\*を要求された場合は「0000」を入力してください。

\* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

### 5 電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ったのを確認する。

電球スピーカーとBLUETOOTH機器が接続された状態になります。  
接続されない場合は、もう一度手順 ② から操作してください。

## ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

## ご注意

- 電球スピーカーのペアリングモードは約5分で解除されます。手順が完了する前に解除されてしまった場合は、もう一度手順②から操作してください。
- 検出した機器の一覧が表示できないBLUETOOTH機器や、画面がない機器とペアリングするときは、電球スピーカーとBLUETOOTH機器の両方をペアリングモードにしてください。BLUETOOTH機器によってはこの操作でペアリングできる場合があります。このときBLUETOOTH機器のパスキーが「0000」以外に設定されていると、電球スピーカーとペアリングすることができません。
- 一度ペアリングすれば再びペアリングする必要はありませんが、以下の場合は再度ペアリングが必要です。
  - － 修理を行ったなど、ペアリング情報が消去されてしまったとき。
  - － 9台以上の機器をペアリングしたとき。  
電球スピーカーは合計8台までのBLUETOOTH 機器をペアリングすることができます。8台分をペアリングしたあと新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
  - － 接続相手の機器から、電球スピーカーとの接続履歴が削除されたとき。
  - － 電球スピーカーをリセットしたとき。  
すべてのペアリング情報が消去されます。

---

## 関連項目

- [ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)

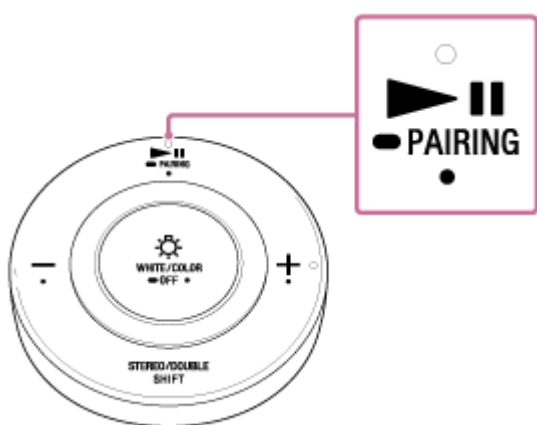
## ペアリング済みのBLUETOOTH機器と接続する

### 1 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。

電球スピーカーに電源が入ります。

### 2 どの機器ともBLUETOOTH接続されていない状態で、▶|| (再生/一時停止) / ■ PAIRING (ペアリング) ボタンを押す。

最後に接続した機器に自動的に接続します。接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。



### 接続がうまくいかないときは

「[BLUETOOTH機器を機器登録 \(ペアリング\) してから接続する](#)」の手順 ③ ~ ⑤ を行ってください。

### 他のペアリング済みの機器と接続したいときは

接続したい機器側でBLUETOOTHの設定を行い、[LST-SE300]を選んで電球スピーカーとBLUETOOTH接続してください。詳しくは、お使いのBLUETOOTH機器の取扱説明書をご覧ください。

#### ヒント

- 電球スピーカーとBLUETOOTH機器が接続された状態で、他のペアリング済みの機器から接続を行うと、あとの機器に接続が切り替わります。

#### 関連項目

- [BLUETOOTH機器を機器登録 \(ペアリング\) してから接続する](#)
- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [BLUETOOTH接続を切断するには \(使い終わるには\)](#)

## BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く

お使いのBLUETOOTH機器が次のプロファイルに対応していれば、電球スピーカーで音楽を聞いたり、電球スピーカーからBLUETOOTH機器を操作したりできます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)  
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)  
音量の調整や、再生／一時停止などの曲操作ができます。

操作はBLUETOOTH機器によって異なることがあります。お使いの機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

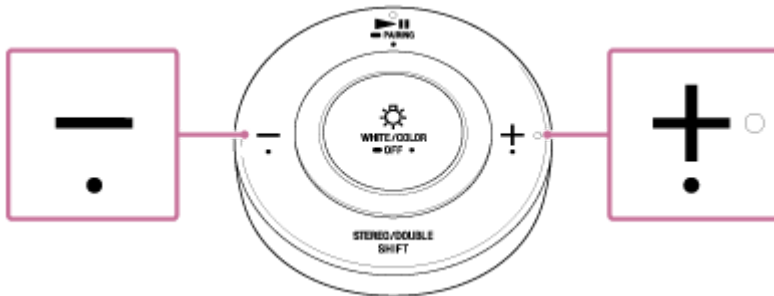
### 1 電球スピーカーとBLUETOOTH機器を接続する。

接続が完了すると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続されたことを知らせる音\*が鳴ります。

### 2 BLUETOOTH機器を再生して、接続機器側で適切な音量に調節する。

### 3 リモコンの音量－／＋ボタンを使って音量を調節する。

音量を最小（消音）または最大にすると、電球スピーカーからピピッという音が鳴ります。



## ヒント

- 音楽を再生／一時停止するには、リモコンの▶||（再生／一時停止）／■ PAIRING（ペアリング）ボタンも使用できます。
- 電球スピーカーのBLUETOOTHコーデック設定は、お買い上げ時は「SBC（接続優先）」に設定されています。BLUETOOTHコーデック設定を変更することにより、高音質な音楽再生を楽しむことができます。BLUETOOTHコーデック設定について詳しくは、「[BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)」をご覧ください。
- 電球スピーカーはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、電球スピーカーで聞くことができます。
- BLUETOOTH機器によっては、機器側でも音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。

## ご注意

- 通信状態が悪いと、電球スピーカーの操作に対してBLUETOOTH機器が誤動作する場合があります。

---

## 関連項目

- [BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation



## BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える

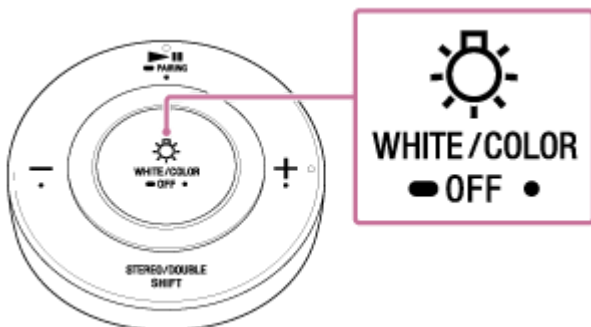
電球スピーカーのBLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質（BLUETOOTHコーデック）を切り替えることができます。

### BLUETOOTHコーデック

- [オート] : AAC、SBC、Qualcomm® aptX™ audioのどれかが自動で選択されます。
- [SBC] : SBC固定となります。
- [SBC（接続優先）] : SBC固定で、かつ、接続性能を優先した設定となります（お買い上げ時の設定）。

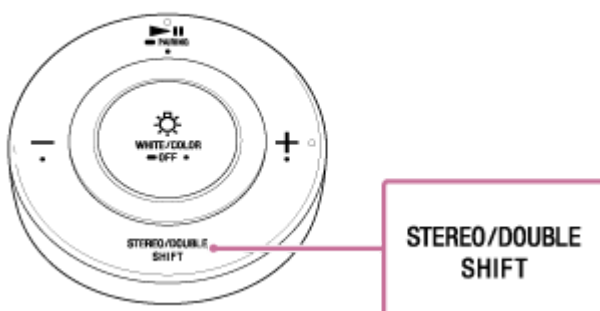
BLUETOOTHコーデックを切り替える場合は、以下の手順を行ってください。

- 1  **WHITE/COLOR（白/カラー） /  OFF（消灯） ボタンを長く押す。**



照明が消灯し、BLUETOOTH接続を切断します。電球スピーカーがスタンバイ状態に移行することを知らせる音\*が鳴ります。

- 2 **照明が消灯し、リモコンから指を離して15秒ほど経ってから、STEREO/DOUBLE（モード切替） / SHIFT（シフト） ボタンを長く押す。**



10秒ほど経つと照明が点灯します。しばらくしてから、切り替わったBLUETOOTHコーデックに応じて、電球スピーカーから次の音が鳴ります。ボタンを押してから、音が鳴るまでに数秒かかります。他のBLUETOOTHコーデックに切り替えたいときは、再度、上記の手順を行ってください。

- [オート] : ピピッ
- [SBC] : ピピピッ
- [SBC（接続優先）] : ピピピピッ

## ご注意

- 「オート」に設定した場合は、お使いのBLUETOOTH機器の設定とご使用環境との組み合わせによって、電球スピーカーの受信状態が不安定になることがあります。この場合は「SBC」に設定してください。受信状態が改善されない場合は「SBC（接続優先）」に設定してください。
- 専用アプリLight Plusを使用してBLUETOOTHコーデックを切り替えることもできます。この場合は、BLUETOOTH接続がいったん切断されますので、手動で再接続してください。

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## BLUETOOTH接続を切断するには（使い終わるには）

BLUETOOTH機器を使い終わったら、以下の手順のいずれかを行って、BLUETOOTH接続を切断してください。接続が切断されると、電球スピーカーからBLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。

- BLUETOOTH機器のBLUETOOTH機能をオフにする。詳しくは、お使いの機器に付属の取扱説明書をご覧ください。
- BLUETOOTH機器の電源を切る。
- NFC機能対応機器の場合は、もう一度電球スピーカーのリモコンにタッチする。

### ヒント

- 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を切っても、BLUETOOTH接続を切断することができます。
- 送信側のBLUETOOTH機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBLUETOOTH接続を切断する場合があります。
- ワンタッチ（NFC）で切断する場合、接続機器によってはアプリが起動している必要があります。

### ご注意

ワンタッチ接続（NFC）や切断を行うときは、お買い上げ時に同梱されていたリモコンのみ使用できます。別の電球スピーカーのリモコンを操作してもワンタッチ接続や切断はできません。

## Speaker Add機能とは（2台の電球スピーカーで音楽を聞く）

Speaker Add機能を使うと、2台の電球スピーカーを連携して再生できます。次の2通りの再生方法を選べます。

### ステレオモード

1台の電球スピーカーから左チャンネル（L側）の音を、もう1台の電球スピーカーから右チャンネル（R側）の音を出して、2台の電球スピーカーでステレオ再生します。



### ダブルモード

2台の電球スピーカーから同じ音（モノラル音声）を再生します。



### ヒント

Speaker Add機能では、1台の電球スピーカーを「親機」（左チャンネル）に設定し、もう1台を「子機」（右チャンネル）に設定します。BLUETOOTH機器は親機のみに接続してください。子機へは親機から接続を行います。



## Speaker Add機能を設定する

Speaker Add機能を設定するには、はじめに左チャンネル（L側）にしたい電球スピーカーに親機の設定を行い、次に2台の電球スピーカー同士を接続します。最後に、親機の電球スピーカーとBLUETOOTH機器とを機器登録（ペアリング）して接続します。

### 1 親機の設定を行う。

操作を行う前に、以下の点にご注意ください。

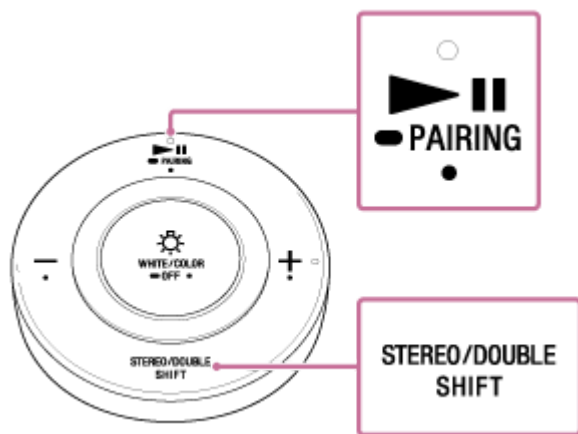
- 親機の設定が完了している場合は、本手順は行わずに、手順②の「2台の電球スピーカーを接続する」に進んでください。設定済みの親機に対して手順①の操作を行うと、親機の設定が解除されてしまいますのでご注意ください。
- 親機に設定した電球スピーカーは、ステレオモードでは左チャンネル（L側）の音を再生します。L側に設定したい電球スピーカーに対して、親機の設定を行ってください。
- 親機の設定は1台の電球スピーカーのみに行ってください。2台以上の電球スピーカーに親機の設定を行うと、Speaker Add機能を使用できません。
- 電球スピーカーの電源を切っても、親機の設定は解除されません。
- 右チャンネル（R側）に設定する電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源は、必ず切っておいてください。2台の電球スピーカーの電源が同時に入る照明器具をお使いの場合は、R側に設定する電球スピーカーは取り外してください。
- Speaker Add機能使用中は親機の設定は変更できません。親機の設定を変更するときは、Speaker Add機能を解除してから行ってください。

1. L側に設定したい電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。  
電球スピーカーが点灯します。



2. リモコンをL側の電球スピーカーに向け、STEREO/DOUBLE（モード切替）／SHIFT（シフト）ボタンを押しながら、▶||（再生／一時停止）／■ PAIRING（ペアリング）ボタンを約1秒間押す。





親機の設定が完了します。

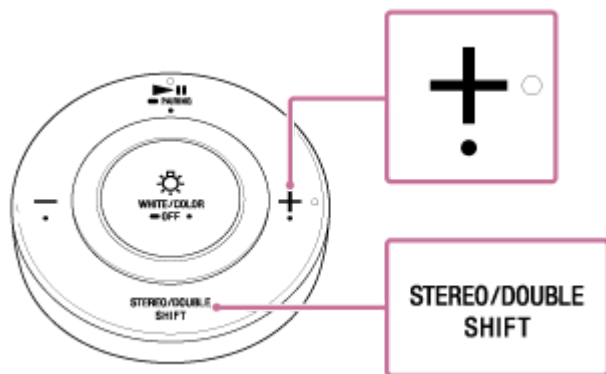
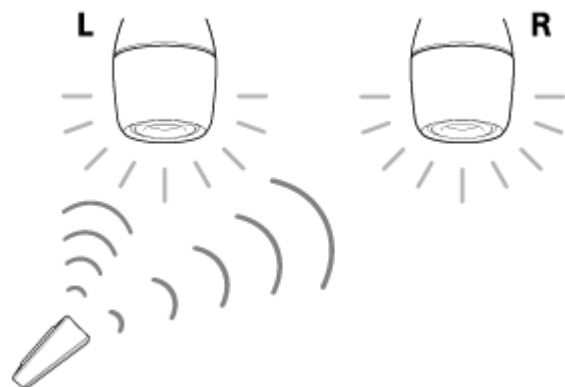
## 2 2台の電球スピーカーを接続する。

手順1で、R側の電球スピーカーを取り外した場合は、あらかじめ、電球スピーカーを取り付けてください。

1. L側の電球スピーカー（親機）が点灯した状態で、R側の電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れる。  
電球スピーカーが点灯します。



2. リモコンを2台の電球スピーカーに向けて、STEREO/DOUBLE（モード切替）／SHIFT（シフト）ボタンを押しながら、音量+ボタンを約1秒間押す。



L側の電球スピーカーからピッピッピ…という音が、R側からピーッピーッピ…という音が鳴ります。

2台の電球スピーカーが離れて設置されている場合などは、1台ずつ操作してください。

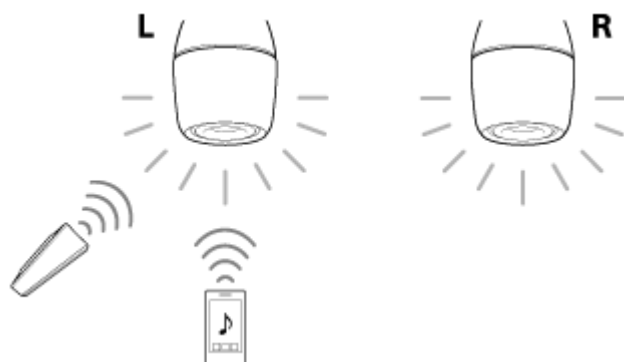
照明器具の電源を入れた直後の数秒間は、Speaker Add機能の設定を受け付けません。しばらく経ってから手順②の操作を行ってください。

### 3 L側の電球スピーカー（親機）とBLUETOOTH機器を接続し、ステレオモード／ダブルモードで再生する。

1. 2台の電球スピーカーが点灯した状態で、L側の電球スピーカー（親機）とBLUETOOTH機器を機器登録（ペアリング）する。

BLUETOOTH機器とのペアリングが完了している場合は、接続のみを行ってください。

BLUETOOTH機器とワンタッチ接続（NFC）を行うときは、必ず、L側の電球スピーカー（親機）に同梱されていたリモコンを使用してください。



2. 音楽を再生する。  
お買い上げ後に初めてSpeaker Add機能を使用するときは、ステレオモードで再生します。

#### ヒント

- Speaker Add機能を使用後に電球スピーカーの電源を切り、再び電源を入れると、電球スピーカーはSpeaker Add機能での再生を試みます。Speaker Add機能を使用する場合は、もう1台の電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れてください。

#### ご注意

- Speaker Add機能使用中は、R側の電球スピーカーはリモコン操作による音量や明るさ、色の調整を受け付けません。必ずL側の電球スピーカーに向けて操作してください。2台の電球スピーカーの設定が同期します。R側の電球スピーカーを単独で使いたいときは、Speaker Add機能を解除してから行ってください。
- 誤って子機のSpeaker Add機能を解除した場合、Speaker Add機能は解除され、音声ガイダンスが流れ続けます。その場合はSpeaker Add機能を再度設定してください。
- 本機と他の電球スピーカーとの組み合わせでSpeaker Add機能を使う場合は、「[LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)」をご覧ください。

#### 関連項目

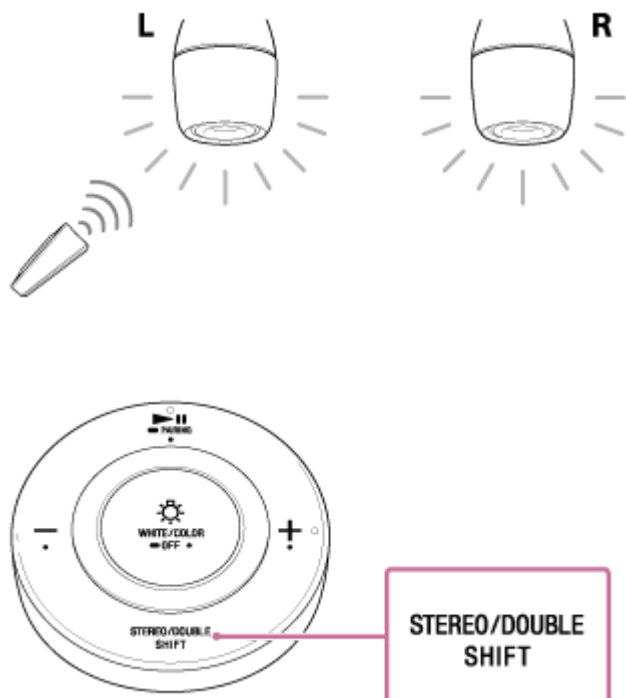
- [ステレオモードとダブルモードを切り替える（Speaker Add機能）](#)
- [親機の設定を解除する（Speaker Add機能）](#)
- [Speaker Add機能を解除する](#)
- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## ステレオモードとダブルモードを切り替える（Speaker Add機能）

2台の電球スピーカーで別々の音を出力してステレオ再生するか（ステレオモード）、2台とも同じ音を再生するか（ダブルモード）を切り替えることができます。



- 1 リモコンを左チャンネル（L側）の電球スピーカー（親機）に向けて、STEREO/DOUBLE（モード切替）／SHIFT（シフト）ボタンを押す。



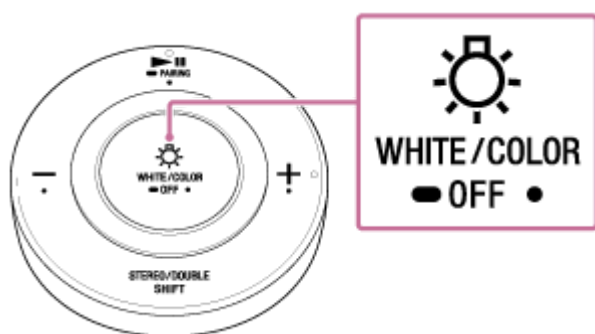
LED電球スピーカー  
LST-SE300

## 親機（左チャンネル）／子機（右チャンネル）を確認する（Speaker Add機能）

2台の電球スピーカーを、親機（左チャンネル（L側））と子機（右チャンネル（R側））のどちらに設定したかわからなくなったときは、以下の操作を行って確認してください。

- 1 電球スピーカーとBLUETOOTH機器を接続した状態で、リモコンを2台の電球スピーカーに向けて、 **WHITE/COLOR**（白／カラー）／  **OFF**（消灯） ボタンを押す。

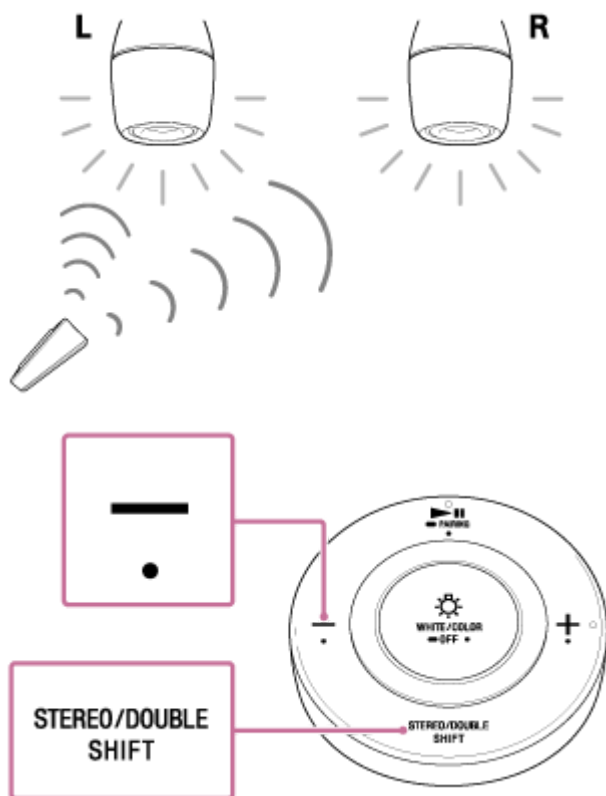
親機（左チャンネル）の電球スピーカーが少し先に反応します。



## Speaker Add機能を解除する

Speaker Add機能の設定を解除するときは、以下の手順を行ってください。

- 1 リモコンを2台の電球スピーカーに向けて、STEREO/DOUBLE（モード切替）／SHIFT（シフト）ボタンを押しながら、音量－ボタンを約1秒間押す。



### ヒント

- Speaker Add機能を解除すると、左チャンネル（L側）の電球スピーカーが通常の再生を行い、右チャンネル（R側）からの再生は停止します。
- 2台の電球スピーカーが離れて設置されている場合は、最初にL側の電球スピーカー（親機）に解除の操作を行ってください。

### ご注意

- 電球スピーカーの電源を切っても、Speaker Add機能は解除されません。
- Speaker Add機能を使用中は、R側の電球スピーカーはリモコン操作による音量や明るさ、色の調整を受け付けません。必ずL側の電球スピーカーに向けて操作してください。2台の電球スピーカーの設定が同期します。R側の電球スピーカーを単独で使いたいときは、Speaker Add機能を解除してから行ってください。
- Speaker Add機能を解除した後で、再度設定する場合は、親機の設定は行わないでください。親機の電球スピーカーに対して、親機を設定する操作を行うと、親機の設定が解除されてしまいますのでご注意ください。
- 誤って子機のSpeaker Add機能を解除した場合、Speaker Add機能は解除され、音声ガイダンスが流れ続けます。その場合はSpeaker Add機能を再度設定してください。

## 関連項目

- [Speaker Add機能を設定する](#)

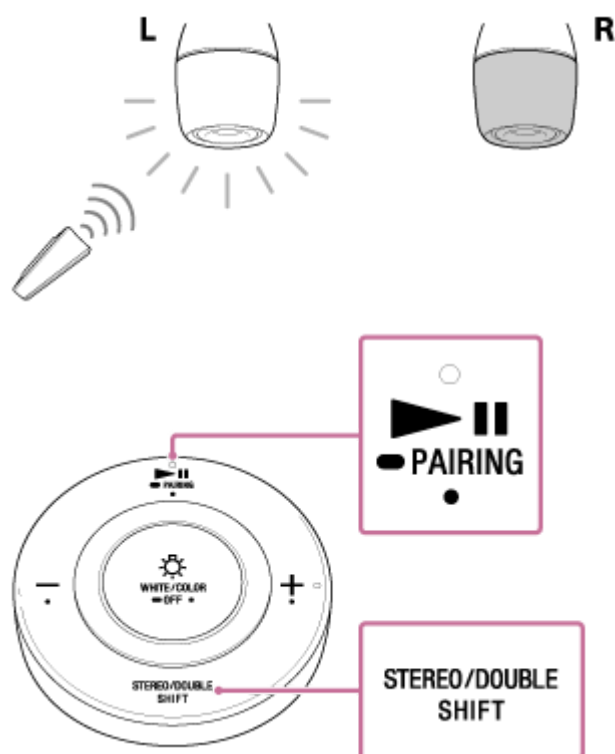
E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## 親機の設定を解除する（Speaker Add機能）

親機の設定を解除するときは、必ず先にSpeaker Add機能を解除してから、以下の手順を行ってください。

- 1 リモコンを左チャンネル（L側）の電球スピーカー（親機）に向け、STEREO/DOUBLE（モード切替）／SHIFT（シフト）ボタンを押しながら、▶||（再生／一時停止）／● PAIRING（ペアリング）ボタンを約1秒間押す。

親機の設定が解除されます。



### ご注意

- 親機の設定解除は、必ず親機に対してのみ行ってください。別の電球スピーカー（子機など）が反応して、誤って親機に設定されてしまう可能性があります。近くに別の電球スピーカーがある場合は、取り付けた照明器具の電源をお切りください。複数の電球スピーカーの電源が同時に入る照明器具をお使いの場合は、別の電球スピーカーは取りはずしておいてください。
- Speaker Add機能を解除していないと親機の設定解除ができませんのでご注意ください。

## LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する

本機は、他の電球スピーカーと接続しSpeaker Add機能を使うことができます。  
本機と接続できる電球スピーカーは、本機LST-SE300と、LSPX-103E26です。


	LSPX-100E26J	LSPX-101E26	LSPX-103E26	LST-SE100	LST-SE300
LST-SE300 (本機)	×	×	○	×	○

LST-SE300とLSPX-103E26でSpeaker Add機能を設定するには、はじめに左チャンネル（L側）にしたい電球スピーカーに親機の設定を行い、次に2台の電球スピーカー同士を接続します。最後に、親機の電球スピーカーとBLUETOOTH機器とを機器登録（ペアリング）して接続します。  
接続方法は「[Speaker Add機能を設定する](#)」をご参照ください。

### ヒント

- LST-SE300同士のSpeaker Add機能と、LST-SE300とLSPX-103E26のSpeaker Add機能の設定方法は同じです。

### ご注意

- LST-SE300とLSPX-103E26のSpeaker Add機能を使用中は以下の操作にご注意ください。
  - BLUETOOTH再生品質の設定で【オート】以外を選択してください。
  - LST-SE300が親機のとくに誤って子機に親機設定をすると音声ガイダンスが流れますので、子機の親機設定解除（リモコンのSHIFT（シフト）ボタン+▶||（再生／一時停止）／  PAIRING（ペアリング）ボタンを押す）を行ってください。
  - LSPX-103E26が親機のとくに誤って親機設定をすると音声ガイダンスが流れますので、音声ガイダンスに従って再度Speaker Add機能を設定してください。
  - LST-SE300が親機のとくに誤って子機のSpeaker Add機能を解除した場合、Speaker Add機能は解除されません。解除したい場合には、親機子機ともにSpeaker Add機能を解除（リモコンのSHIFT（シフト）ボタン+音量－ボタンを押す）してください。
  - LSPX-103E26が親機のとくに誤って子機のSpeaker Add機能を解除した場合、Speaker Add機能は解除されますが、音声ガイダンスが流れ続けます。その場合は最初から設定をやり直してください。

### 関連項目

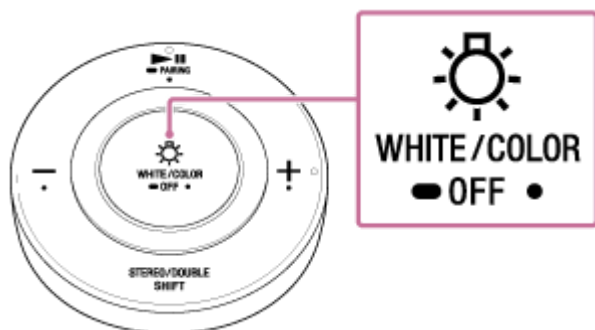
- [Speaker Add機能を設定する](#)

## 明るさを調整する

電球スピーカーの明るさを調整します。

- ①  WHITE/COLOR (白/カラー) /  OFF (消灯) ボタンを押して、照明を点灯する。

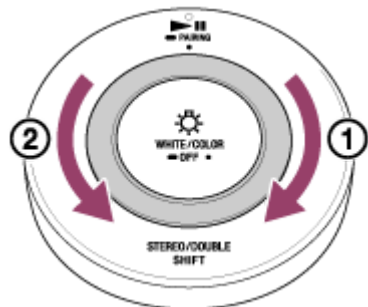
押すたびに、照明が点灯/カラーモード/消灯と切り替わります。



- ② 調光/カラー調整リングを回して、明るさを調整する。

右に回す (①) と明るく、左に回す (②) と暗くなります。

明るさが最大になると、電球スピーカーからピピッという音が鳴ります。



### 関連項目

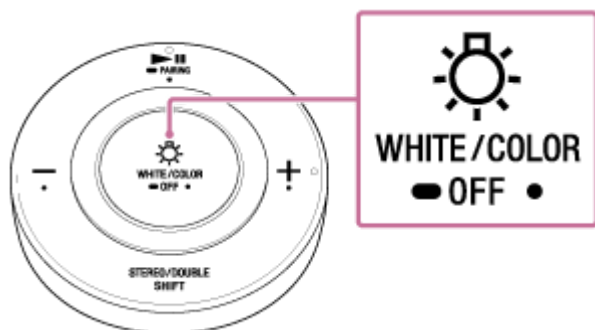
- [消灯する](#)

## 消灯する

電球スピーカーの照明を消灯します。

- 1 ❖ WHITE/COLOR (白/カラー) / ■ OFF (消灯) ボタンをくり返し押す。

押すたびに、照明が点灯/カラーモード/消灯と切り替わります。



### ご注意

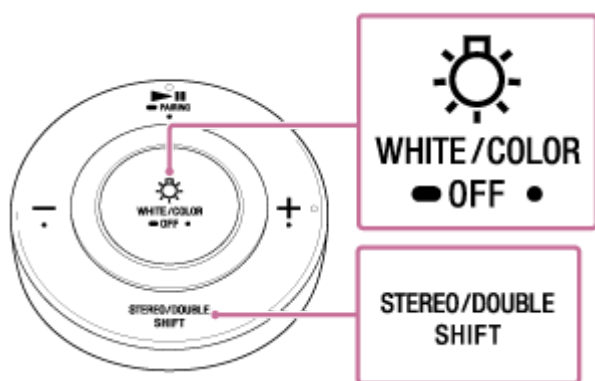
- ❖ WHITE/COLOR (白/カラー) / ■ OFF (消灯) ボタンを長く押して消灯すると、BLUETOOTH接続が切断されます。この場合は音楽の再生はできません。再度接続するには、もう一度、❖ WHITE/COLOR (白/カラー) / ■ OFF (消灯) ボタンを押して照明を点灯させてください。長く押して消灯した場合は、再度点灯するときに、電球スピーカーが操作を受け付けるまでに時間がかかります。

## スリープタイマー機能を使う

スリープタイマーを設定すると、指定した時間の後に電球スピーカーの電源が切れます。

- 1 **STEREO/DOUBLE (モード切替) /SHIFT (シフト) ボタンを押しながら、☀ WHITE/COLOR (白/カラー) / ● OFF (消灯) ボタンを押す。**

スリープタイマーが設定され、本機からピッという音が鳴ります。60分後（お買い上げ時の設定）に電球スピーカーが消灯します。音楽を再生していた場合は停止します。



## スリープタイマーを解除するには

もう一度、上記の操作を行います。解除されると、電球スピーカーからピーッという音が鳴ります。

### ヒント

- スリープタイマーの時間は専用アプリLight Plusから変更できます。

### 関連項目

- [スリープタイマーの時間を設定する \(Light Plus\)](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Light Plusでできること

Light Plusとは、スマートフォンやiPhone/iPadから電球スピーカーを操作するためのアプリです。

### ダウンロード方法

Google Play（Playストア）またはApp StoreでLight Plusを検索してダウンロードします。



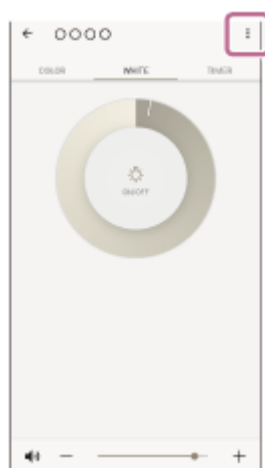
### できること

- 音量調整
- 操作音のON/OFF設定
- 音質設定
- 照明の切替（消灯、点灯）
- 照明の明るさ調整（調光）
- スリープタイマー設定
- ウェイクアップタイマー設定（Android端末のみ）

### 各種設定操作

#### 設定画面

電球スピーカーの各種設定や操作ができます。[⋮] をタップして表示します。





## 操作音のON/OFF設定

操作音をOFFすることができます。



## 照明器具の選択

お使いの照明器具に合わせた音質設定ができます。



## BLUETOOTH再生品質

電球スピーカーのBLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質（BLUETOOTHコーデック）を切り替えられます。

オート：AAC、SBC、aptXのいずれかが自動で選択されます。

SBC：SBC固定となります。

SBC（接続優先）：SBC固定で、かつ、接続性能を優先した設定となります（お買い上げ時の設定）。



## BLUETOOTHペアリング開始

接続中の機器とは別のスマートフォンやiPhone/iPadを電球スピーカーに機器登録（ペアリング）するための機能です。リモコンを使わずにペアリングモードに入ることができます。

タップした時点で、接続中のスマートフォンやiPhone/iPadと電球スピーカーの接続が切断されますのでご注意ください。



## 電源オフ

電球スピーカーが消灯し、BLUETOOTH接続も切断されます。

再び電源を入れるときは、照明器具の電源を入れ直すか、リモコンによる点灯操作を行ってください。



## ヘルプガイド

ヘルプガイドを表示します。





LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Light Plusをインストールする

電球スピーカーの操作や設定は、専用アプリLight Plusで行います。はじめに、Google Play（Playストア）またはApp Storeから、スマートフォンやiPhone/iPadにLight Plusをインストールしてください。  
対応OSについては、Google Play（Playストア）またはApp Storeをご覧ください。

- 1 Google Play（Playストア）またはApp Storeで、Light Plusをダウンロードしてインストールする。



- 2 インストールが終了したら、Light Plusを起動する。

- 3 （Android搭載スマートフォンのみ）

1. 利用規約の内容を確認し、同意する。
2. バックグラウンドでの実行許可の画面が表示されるのを確認し、[許可] をタップする。



電球スピーカーのBLUETOOTH接続状態を示す画面が表示されます。

「許可しない」を選択した場合、電球スピーカーとの接続に失敗する場合があります。

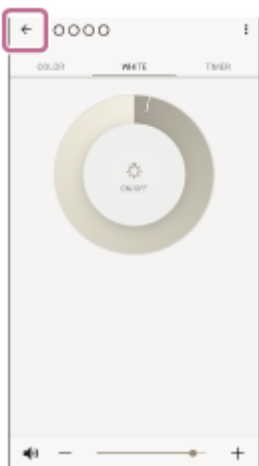
スマートフォンの「設定」>「アプリと通知」から変更できます。

詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

## Light Plusを使ってBLUETOOTH接続状態を確認する

Light Plusを使って、電球スピーカーのBLUETOOTH接続状態を確認できます。

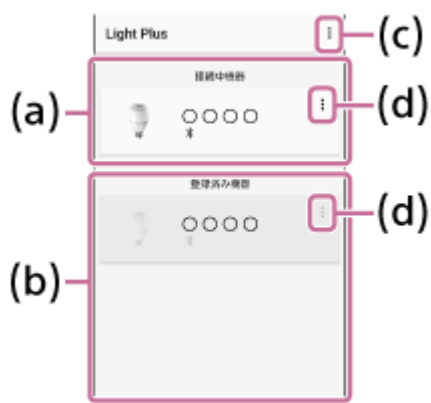
### 1 Light Plusを起動して、← をタップする。



電球スピーカーのBLUETOOTH接続状態を示す画面が表示されます。

### 2 電球スピーカーのBLUETOOTH接続状態を確認する。

1台のみ接続しているとき



(a) 接続中の電球スピーカー

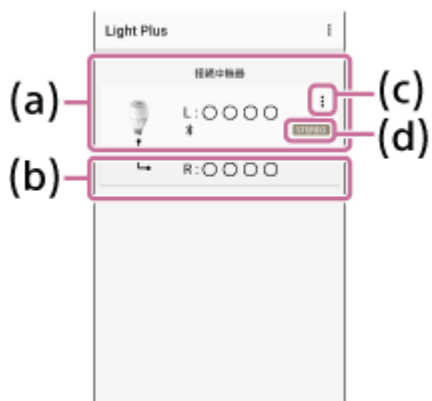
(b) 未接続の電球スピーカー

BLUETOOTH機器と機器登録（ペアリング）済みの電球スピーカーのみ表示されます。表示を削除するときは、画面右上の〔:〕をタップし、〔機器の削除〕を選びます。

(c) 表示された電球スピーカーを削除するときは、タップして、〔機器の削除〕から削除したい電球スピーカーを選びます。

(d) タップすると、電球スピーカーの名称を変更できます。

Speaker Add機能を使用しているとき



(a) 接続中の親機

(b) 接続中の子機

BLUETOOTH機器と接続したことがない場合は、[不明な機器]と表示され、名称の変更ができません。この場合は、Speaker Add機能を解除し、BLUETOOTH機器とペアリングすることで変更できます。

(c) タップすると、親機と子機のそれぞれの名称を変更できます。

(d) ステレオモード／ダブルモードの設定が表示されます。

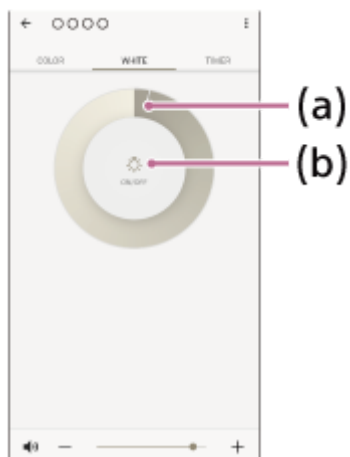
## Light Plusで照明の明るさを調整する

Light Plusを使って、照明の明るさを調整したり、点灯／消灯を切り替えたりできます。

**1 Light Plusを起動して、[WHITE] タブをタップする。**

調光画面が表示されます。

**2 照明を調整する。**



**(a) 調光リング**

リングに沿って指でなぞって調整します。

リング上をタップすると、その位置の明るさに切り替わります。

**(b) 照明スイッチ／調光レベルインジケータ**

タップするたびに、照明が点灯／消灯と切り替わります。

明るさを調整したときは、調光レベル値（最小：OFF～最大：MAX）を表示します。

## Light Plusで照明の色を調整する

Light Plusを使って、照明の色を調整します。192色を選べます。

### 1 Light Plusを起動して、[COLOR] タブをタップする。

色調整画面が表示されます。

### 2 色を調整する。



#### (a) カラー調整リング

リングに沿って指でなぞって調整します。  
リング上をタップすると、その位置の色に切り替わります。

#### (b) 照明スイッチ

押すたびに照明が点灯／消灯と切り替わります。

#### (c) カーソル

設定中の色を示します。

#### (d) 設定中のカラーを表示します。

## 音楽と連動して照明の色を変化させる（Light Plus）

音楽と連動して照明の色を変化させることができます。

- 1 **Light Plusを起動して、[COLOR] タブをタップする。**  
色調整画面が表示されます。
- 2 **画面を下から上にフリックして、プリセット選択項目を表示する。**
- 3 **モードを選ぶ。**

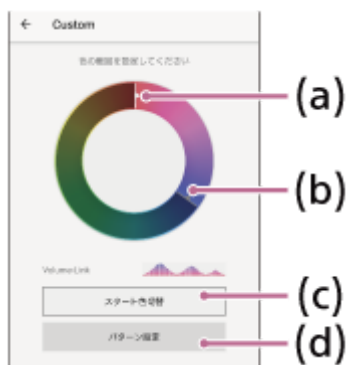


(a) プリセットモード：あらかじめ設定された4種のパターン（[Warm] [Cold] [Pastel] [Vivid]）から設定します。

(b) カスタマイズモード：お好みの色や連動パターンを設定できます。

プリセットモードを選んだ場合は、設定は完了です。  
以下は、カスタマイズモードを選んだときの設定方法です。

- 4 **[Custom] をタップする。**  
カスタム設定画面が表示されます。
- 5 **画面を操作して設定する。**



(a) 白色カーソル：基点となる色を設定します。カーソルに指をあてて、リングに沿って動かします。

(b) 灰色カーソル：変動する幅が最大になるときの色を設定します。カーソルに指をあてて、リングに沿って動かします。

(c) [スタート色切替]：白色カーソルと灰色カーソルを切り替えます。

(d) [パターン設定]：連動パターンを選びます。

- [Volume-Link]（ボリューム連動）：音量に応じて照明の色が変化します。
- [Rhythm-Link]（リズム連動）：リズムに応じて照明の色が変化します。応答感度を、[High]（高）、[Middle]（中）、[Low]（低）から選べます。
- [Time-Link]（時間連動）：時間で色が変わります。[Speed]の調整バーで変化する速度を変更できます。音楽を再生していないときも色が変わります。

## ヒント

- 照明は、白色カーソルから灰色カーソルの間の色で変化します。リング上で黒く表示された部分の色は点灯しません。

## ご注意

- Speaker Add機能を使用しているときは、親機と子機で色が同期しない場合があります。
- [パターン設定]の[Volume-Link][Rhythm-Link]を行う際は、電球スピーカーからある程度大きい音量を出力する必要があります。機能がうまく働かない場合は、出力する音量を上げてください。

## 注意：音楽連動機能による光の点滅に関するご注意

音楽連動機能を使うと、音楽のリズムや音の大きさに合わせて、LED電球の色や明るさが変化し、点滅のように見える場合があります。

色や明るさの変わりかたは、選択したモードや曲のリズム、ボリュームの設定でも変わります。

この色や明るさの変わりかたによっては、非常にまれに、けいれん発作や失神などの光感受性発作の症状が出る可能性があります。

今までにけいれん発作や失神の症状が出たことがない方でも、この色や明るさの変化によってけいれん発作や失神の症状が出る可能性もありますので、ご心配な方は、LED電球スピーカーから離れたり、部屋全体をなるべく明るくしたりしてご使用いただくことをおすすめします。

けいれん発作や失神、意識障害などの光感受性発作の既往歴がある方は、音楽連動機能を使う前に医師にご相談ください。

音楽連動機能を使用中に以下の症状（\*）が出た場合は、直ちに、音楽連動機能の使用を中止し、再び使用する前に医師にご相談ください。

\*めまい、異常な見え方、目（まぶた）や筋肉のけいれん、意識障害や失神、けいれん発作やひきつけ

## 電話の着信を照明で知らせる（着信お知らせ設定）（Androidスマートフォンのみ） （Light Plus）

電話の着信を電球スピーカーを点滅させて通知します。

**1 Light Plusを起動する。**

**2 ⋮（メニュー）から［着信お知らせ設定］をタップする。**

ダイアログ画面が表示されたら、［OK］をタップし、画面の指示に従って操作します。設定画面が表示されます。

**3 ［通知色の設定］をタップする。**

設定画面が表示されます。

**4 通知する色を設定する。**



(a) 設定した色が表示されます。

(b) カーソルを回して、色を設定します。

**5 ［OK］をタップする。**

設定が完了します。

### ヒント

- 着信お知らせ設定画面の［通知の設定］のスライドボタンをタップすると、本機能のオン／オフを切り替えられます。
- お使いのAndroidスマートフォンによっては、本機能が正しく動作しないことがあります。
- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroidスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

### ご注意

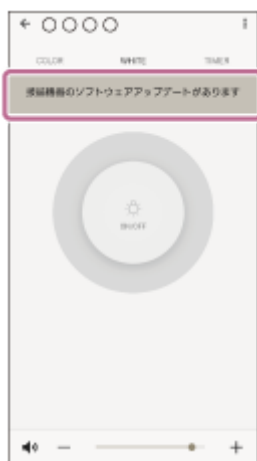
- 着信お知らせ中に電話に出たり着信が切れたりしたときは、点滅を停止します。

- 一定の回数点減すると、着信が続いていても点減を停止します。
- お使いのAndroidスマートフォンによっては、着信お知らせ中に電球スピーカーがリモコン操作を受け付けなくなることがあります。

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## ソフトウェアをアップデートする（Light Plus）

LED電球スピーカー本体のソフトウェアをアップデートします。画面の上部に「接続機器のソフトウェアアップデートがあります」のメッセージが表示されている場合は、メッセージをタップして、画面の指示にしたがって、ソフトウェアアップデートを実行してください。



### ご注意

- アップデートには10分程度かかります。アップデート中は電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を入れたままにしてください。
- アップデート中は電球スピーカーやスマートフォンやiPhone/iPadを操作しないでください。スマートフォンやiPhone/iPadの充電電池の残量が少ないときは、充電しながらアップデートを行ってください。
- アップデートを行うと、電球スピーカーの一部の設定が初期化されます。もう一度、設定を行ってください。

## スリープタイマーの時間を設定する（Light Plus）

スリープタイマーの時間を設定できます。

- 1 Light Plusを起動し、[TIMER] タブをタップする。
- 2 [Sleep Timer] の下に表示されている時間をタップする。



[時間設定] 画面が表示されます。

- 3 タイマーを設定したい時間（15分／30分／45分／60分）をタップする。  
[マニュアル] を選ぶと、最大で180分まで5分刻みで設定できます。



- 4 [OK] をタップする。

設定が完了します。

### ヒント

- 設定時間の右にあるスライドボタンで、機能のオン／オフを切り替えられます。

## ご注意

- お使いのスマートフォンやiPhone/iPadによっては、スリープタイマーが正しく動作しないことがあります。

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## ウェイクアップタイマーを設定する（Android搭載スマートフォンのみ）（Light Plus）

指定した時間に音楽を再生して、電球スピーカーを目覚ましとして使用できます。同時に、設定した明るさで照明を点灯できます。

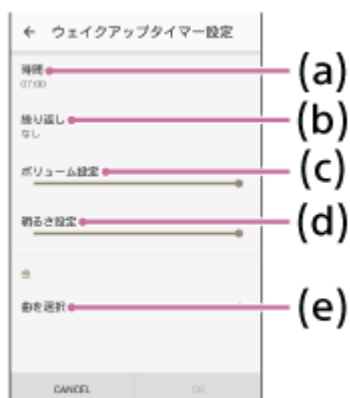
1 Light Plusを起動し、[TIMER] タブをタップする。

2 [タイマー追加] をタップする。



[ウェイクアップタイマー設定] 画面が表示されます。

3 ウェイクアップタイマーを設定する。



(a) 時間

タップすると [時間設定] 画面を表示します。開始時刻を設定します。

(b) 繰り返し

タップすると、[繰り返し] 画面を表示します。ウェイクアップタイマーを毎週繰り返したい曜日を選びます。

(c) ボリューム設定

スライダーを左右に動かして、ウェイクアップタイマー再生時の音量を設定します。

(d) 明るさ設定

スライダーを左右に動かして、ウェイクアップタイマー再生時の照明の明るさを設定します。

(e) 曲を選択

タップして、ウェイクアップタイマーで再生する曲を選びます。この設定を行わないと、ウェイクアップタイマーは動作しません。

#### 4 設定したら、[OK] をタップする。

ダイアログが表示されたら、[OK] をタップします。設定が完了し、[TIMER] 画面に戻ります。設定したウェイクアップタイマーの右側にあるスライドボタンで、オン/オフを切り替えられます。

### ウェイクアップタイマーの設定を削除するには

1. Light Plusを起動し、[TIMER] タブをタップする。
2. [⋮] から、[タイマー削除] をタップする。
3. 設定したウェイクアップタイマーの右側にある [×] をタップする。



4. [OK] をタップする。  
ウェイクアップタイマーが削除されます。

#### ヒント

- ウェイクアップタイマー起動中に表示される画面で [STOP] をタップすると、音楽の再生を停止して画面を閉じます。[CLOSE] または [◀] をタップすると、音楽を再生したままで画面を閉じます。再生を停止するときは、再度Light Plusを起動して表示される手順 ② の画面で、[音楽再生の停止] をタップします。

#### ご注意

- ウェイクアップタイマーを使用する際は、設定したスマートフォンと電球スピーカーをBLUETOOTH接続しておく必要があります。設定した時間にBLUETOOTH接続が切断していると、ウェイクアップタイマーは働きませんのでご注意ください。
- お使いのAndroid搭載スマートフォンによっては、ウェイクアップタイマーが正しく動作しないことがあります。

## LED電球スピーカーの仕様

---

### ワイヤレススピーカーとして

- ワンタッチ接続（NFC）
- BLUETOOTH Ver. 4.1対応
- 対応BLUETOOTHプロファイル<sup>\*1</sup>：A2DP、AVRCP
- 対応コーデック<sup>\*2</sup>：AAC、SBC<sup>\*3</sup>、aptXのいずれかが自動で選択されます。
- SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を聞くことが可能

### LED電球として

- お使いの電球と交換して使用可能
- 調光・カラー調整機能付き

### ワイヤレススピーカー／LED電球の共通機能

- スリープタイマー

\*1 BLUETOOTHプロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

\*2 音声圧縮変換方式のこと

\*3 Subband Codecの略

---

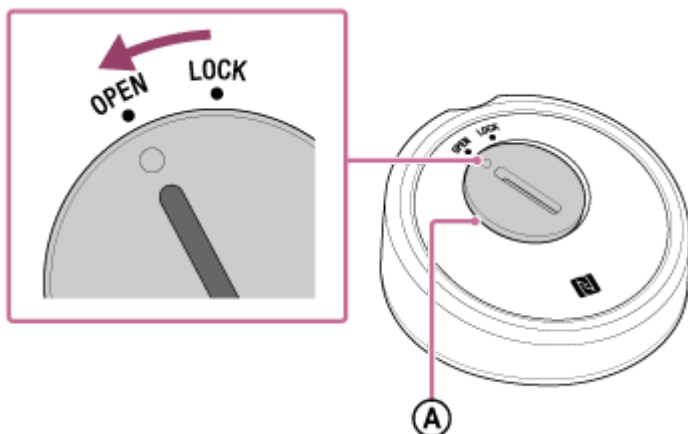
### 関連項目

- [Light Plusでできること](#)

## リモコンの電池を交換する

リモコンの電池を交換するときは、必ず新しいリチウム電池CR2032を使用してください。

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの溝にコインなどを差し込んで左に回し、印をOPENに合わせる。

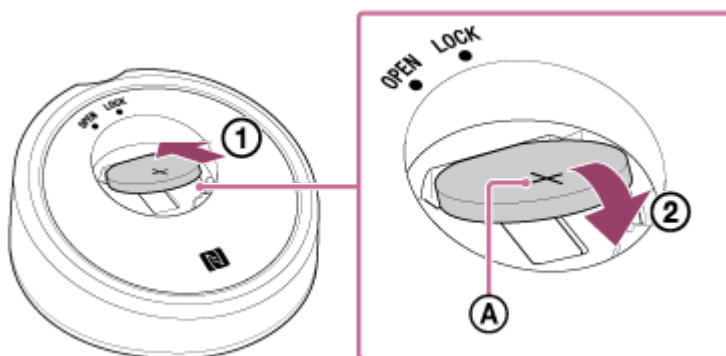


電池ぶたの左側が少し浮いた状態になります（A）。

- 2 電池ぶたを開けて、古い電池を取り出す。

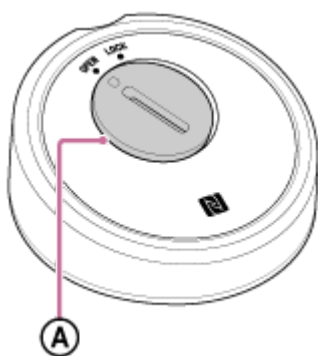
- 3 新しい電池を入れる。

まず先端を差し込んでから（①）、電池をしっかりはめてください（②）。



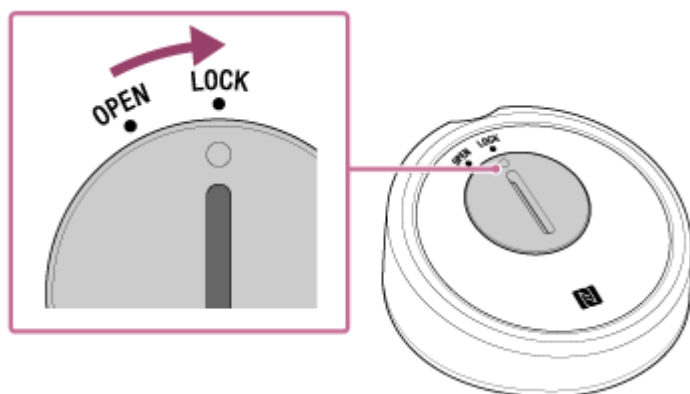
+側（A）を上にして入れてください。

- 4 電池ぶたを閉めて、印をOPENに合わせる。



電池ぶたの左側が少し浮いた状態になります（A）。

**5** 電池ぶたを右に回し、印をLOCKに合わせる。



LED電球スピーカー  
LST-SE300

## ソフトウェアバージョン確認方法について

### Light Plusのバージョンを確認する

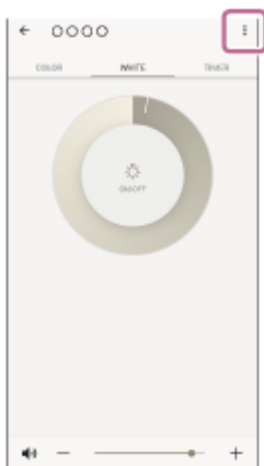
BLUETOOTH接続状態の確認画面の「⋮」をタップして、「Light Plusについて」からご確認ください。



### LED電球スピーカーのバージョンを確認する

調光画面、タイマー画面の「⋮」をタップして、「設定」からご確認ください。

#### 調光画面



#### タイマー画面





## 使用上のご注意

### 温度上昇について

- 電球スピーカーを長時間お使いになると、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

### 使用場所について

- 次のような場所には置かないでください。
  - 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
  - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
  - ほこりの多い所、砂地の上
  - 時計、キャッシュカードなどの近く  
（録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、電球スピーカーに近づけないでください。）
  - 激しい振動のある所
- ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯すると、雑音が入ることがあります。（雑音が入るときは、ランプから1 m以上離してご使用ください）
- 赤外線リモコンを採用した機器（テレビやエアコンなど）の近くで点灯すると、リモコンが誤作動することがあります。
- 器具周囲に硫黄成分が存在する場所（温泉地など）での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。

### 取り扱いについて

- 汚れたときは、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、使わないでください。
- 水洗いや分解、改造はしないでください。LED素子などは交換できません。
- ランプ周囲温度が5℃～40℃の範囲で使用してください。
- 密閉型器具など、器具内の温度や周囲温度が高くなる器具へ装着した場合、寿命が短くなったり、自動的に電力を抑えるため明るさが低下したりする場合があります。
- 交流100V、周波数50/60Hz以外での電源では使用しないでください。
- ランプを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- LED素子には光色、明るさにばらつきがあるため、同一形式の商品でも光色、明るさが異なることがあります。
- 明るさ、光色、中心光度および光の広がり方（配光）は白熱電球とは異なります。
- 一般的な電球と比べると、点灯や消灯のタイミングが遅れる場合があります。
- 人感スイッチなどの自動点滅装置や遅れ停止スイッチなどとは組み合わせて使用できない場合があります。
- ご使用前に器具が老朽化していないかご確認の上、お取り付けください。
- 装着する照明器具の種類・形・設置場所により音質は異なります。
- 電球スピーカーのスピーカー部分を指で押したりして衝撃を与えないでください。

## 防水について

### 本機の防水性能について

本機は、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級（IPコード）」の“水の浸入に対する保護等級”であるIPX4<sup>\*1</sup>相当の防滴仕様<sup>\*2</sup>です。水滴がかかる状態で使用する場合は、一般照明用電球の防水ソケットでご使用ください。その際にお使いの防水ソケットが正常に機能しているかご確認ください。使いかたによってはソケット部から内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

\*1 IPX4相当とは、あらゆる方向からの飛沫に対して本体機能を保護するものです。

\*2 付属のリモコンは防滴仕様になっておりません。

### 防水の対象となる液体<sup>\*3</sup>

対象	真水、水道水
非対象	上記以外の液体（例：洗剤や入浴剤の入った水、温泉水、高温のお湯、プールの水、海水など）

\*3 海、プール、温泉、サウナでの使用はおやめください。塩水、塩素水、硫黄、高温により本機が故障する可能性があります。

防水性能については、上記条件による当社測定に基づいたものです。  
お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

### 防水性能を保つために

下記の点を必ずご確認のうえ、本機を正しくお使いください。

- 本機は耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかるため、本機を水中に沈めたり、水道の蛇口からの勢いのある水を直接かけるなどしないでください。また、勢いのある水を本機に向けて直接かけたりしないでください。
- 本機を温度が非常に高いところ（約40℃以上）や低いところ（約0℃以下）で使用したり、放置したりしないでください。変形などにより防水性能が保持できなくなります。0℃以下では、本機に付着した水滴が凍結し、故障するおそれがあります。
- 高温のお湯を直接かけたり、付着した水滴を乾燥させるなどのためにドライヤーなどの機器からの熱風を直接あてないでください。また、サウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水性能が劣化する原因となる場合があります。

## BLUETOOTH機器について

### 機器認定について

電球スピーカー内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、電球スピーカーを使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 電球スピーカーを分解／改造すること

### 周波数について

電球スピーカーは2.4 GHz帯の2.4000 GHzから2.4835 GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 電球スピーカーの使用上の注意事項

電球スピーカーの使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 電球スピーカーを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、電球スピーカーと「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに電球スピーカーの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、総合窓口までお問い合わせください。

この無線機器は2.4 GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10 mです。



### 関連項目

- [アフターサービス・お問い合わせ](#)

## BLUETOOTH無線技術について

BLUETOOTH無線技術は、パソコンやデジタルカメラなどのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ10 m 程度までの距離で通信を行うことができます。

無線技術によってUSBのように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

BLUETOOTH標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

### BLUETOOTH機能の対応バージョンとプロファイル

プロファイルとは、BLUETOOTH機器の特性ごとに機能を標準化したものです。電球スピーカーは下記のBLUETOOTHバージョンとプロファイルに対応しています。

対応BLUETOOTHバージョン：BLUETOOTH標準規格Ver. 4.1準拠

対応BLUETOOTHプロファイル：

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：高音質な音楽コンテンツを送受信する。
- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）：音量の調整や、再生／一時停止などの曲操作をする。

### 通信有効範囲

見通し距離で約10 m以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- BLUETOOTH接続している機器の間に人体や金属、壁などの障害物がある場合
- 無線LANが構築されている場所
- 電子レンジを使用中の周辺
- その他電磁波が発生している場所
- 送信機に別のBLUETOOTH機器を接続している場合

### 他機器からの影響

BLUETOOTH機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4 GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 電球スピーカーとBLUETOOTH機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
- 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。

### 他機器への影響

BLUETOOTH機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故が発生させる原因になりますので、次の場所では電球スピーカーおよびBLUETOOTH機器の電源を切ってください。

- 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

### ご注意

- BLUETOOTH機能を使うには、相手側BLUETOOTH機器が電球スピーカーと同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、BLUETOOTH機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- BLUETOOTH無線技術の特性により、音楽再生時に、送信側に比べて受信側は音がわずかに遅れて聞こえます。特に動画の音声を受信する場合、映像よりも音声が遅れて聞こえる場合があります。

- 電球スピーカーは、BLUETOOTH無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。BLUETOOTH無線通信を行う際はご注意ください。
- BLUETOOTH技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しましても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 電球スピーカーと接続するBLUETOOTH機器は、Bluetooth SIGの定めるBLUETOOTH標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、BLUETOOTH標準規格に適合していても、BLUETOOTH機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
- 電球スピーカーと接続するBLUETOOTH機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。

## 商標について

- Android、Google Playおよびその他のマークまたはロゴはGoogle LLCの商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- ウォークマン、WALKMAN、WALKMANロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニー株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Nマークは、NFC Forum, Inc.の米国その他の国における商標または登録商標です。
- Apple、iPhone、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- 「Made for Apple」バッジは、アクセサリが本バッジに記載されたアップル製品専用に接続するように設計され、アップルが定める性能基準を満たしていることを示します。アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.  
Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- 本文中では®、™マークは明記していません。

## アフターサービス・お問い合わせ

### アフターサービス

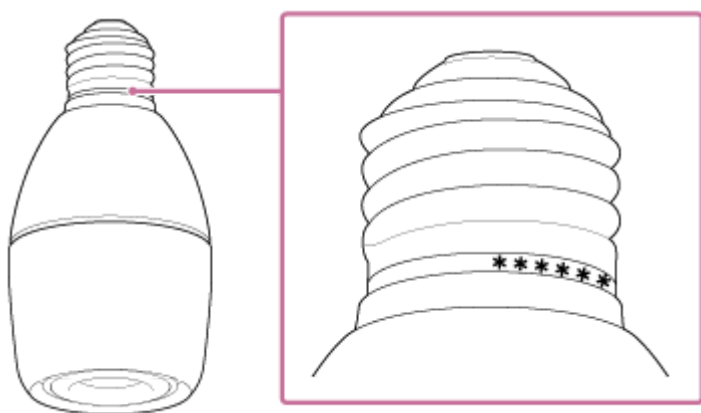
#### 調子が悪い時はまずチェックを

このヘルプガイドに記載の「よくある質問」をもう一度ご覧になってお調べください。

#### それでも具合が悪いときは

総合窓口（下記）にご相談ください。修理にお出しになるときは、どちらか一方に不具合があると思われる場合も、必ず電球スピーカーとリモコンの両方をお持ちください。

修理時等にはシリアルナンバーが必要になります。本機のシリアルナンバーは、Light Plusの設定画面および電球スピーカー本体の口金部分（下図）に記載されています。



#### 部品の保有期間について

当社では電球スピーカーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

#### 部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### 取扱説明書について

付属のスタートガイド、リファレンスガイドは、以下のサポートサイトからダウンロードいただけます。

<https://www.sony.jp/support/active-speaker/products/lst-se300/manual/>

### お問い合わせ

本機の相談窓口は、ソニーネットワークコミュニケーションズ総合窓口が行っております。

**ソニーネットワークコミュニケーションズ総合窓口**  
**フリーダイヤル 0120-520-053**

対応時間：9:00～18:00

※1月1日、2日及び弊社指定のメンテナンス日を除く

携帯電話、PHSからもご利用になれます。

一部のIP電話等からは、03-5796-6285



LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. 何台まで機器登録（ペアリング）できますか？

A. 8台まで登録できます。

9台以上登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。

**Q. BLUETOOTH機器と接続するたびに、機器登録（ペアリング）する必要がありますか？**

A. 一度ペアリングを行えば、再びペアリングする必要はありません。

ただし、ペアリングした機器とBLUETOOTH接続ができない場合は、再度ペアリングを行ってください。例えば、以下のような場合は再度ペアリングが必要です。

- 修理を行った後など、ペアリング情報が削除されてしまった場合
- 9台以上の機器をペアリングした場合
- 電球スピーカーを初期化した場合
- 接続相手のペアリング情報が削除されてしまった場合

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. 機器登録（ペアリング）や接続ができないときは

A. 以下のチェック項目を順番に確認してください。

- 電球スピーカーとBLUETOOTH機器との距離を1 m以内に近づけてください。
- 電球スピーカーの電源が入っていることを確認してください。
- 機種変更などでスマートフォンやタブレットなどのBLUETOOTH機器を変更した場合は、再度、ペアリングを行ってください。電球スピーカーのペアリング手順については、「[機器登録（ペアリング）](#)や[BLUETOOTH接続ができない](#)」をご確認ください。

### 関連項目

- [機器登録（ペアリング）やBLUETOOTH接続ができない](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. リモコンが使用できないときは

A. 初めてリモコンを使用するときは、内蔵電池の保護シートを取り外してください。  
お買い上げ時には、リモコンに電池が内蔵されています。初めて使用するときは、リモコン裏面の電池ぶたを開けて、電池の下にある保護シートを必ず取り外してください。

### 関連項目

- [リモコン操作を受け付けない](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. BLUETOOTH通信が可能な距離はどのくらいですか？

---

A. およそ10 mまでの距離で通信できます。

BLUETOOTH通信が有効な範囲は、障害物（人体、金属、壁など）や周囲の電波状態によって変化します。

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. LED電球スピーカーのお手入れはどのように行いますか？

A. 汚れたときは、中性洗剤を少しふくませた柔らかい布でふいてください。以下の点に注意してください。

- シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めるため、使用しないでください。
- 水洗いや分解、改造を行わないでください。
- LED素子などは交換できません。

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Q. LST-SE300は他のLED電球スピーカーと接続できますか？

A. 本機は、LST-SE300とLSPX-103E26に接続可能です。 接続方法については、「[LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)」をご確認ください。

### 関連項目

- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)

## 故障かな？と思ったら

---

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目で調べる。
- リモコンの電池に十分な残量があり、電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源が入っているか確認する。
- 電球スピーカーをリセットする。  
音量や明るさ、色の設定を工場出荷時に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報やBLUETOOTHコーデックの設定、イコライザーの設定を削除します。Speaker Add機能や親機の設定は解除されます。

それでも解決しない場合、総合窓口までお問い合わせください。

なお、アフターサービスについては、「アフターサービス・お問い合わせ」をご参照ください。

---

### 関連項目

- [アフターサービス・お問い合わせ](#)

## 音が出ない、音が小さい

- 電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源が入っているか確認してください。
- BLUETOOTH接続した機器と電球スピーカーの音量が小さすぎないか確認してください。
- BLUETOOTH接続した機器で再生されているか確認してください。
- パソコンにつないでいるとき、パソコンの音声出力先がBLUETOOTHになっているか確認してください。
- 電球スピーカーとBLUETOOTH機器がBLUETOOTH接続されていることを確認してください。
- BLUETOOTH機器と電球スピーカーをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
- BLUETOOTH機器によっては、複数の電球スピーカーと接続できるものがありますが、このような接続を行った場合でも、再生可能な電球スピーカーは1台のみになります。2台の電球スピーカーを連動して使用する場合は、Speaker Add機能を使用してください。
- LST-SE300とLSPX-103E26のSpeaker Add機能を使用する場合は、BLUETOOTH再生品質設定で［オート］以外を選択してください。

### 関連項目

- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Speaker Add機能を設定する](#)
- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)
- [BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)

## 音が割れる、ノイズが出る、音が途切れる

---

- つないだ機器の音量が大きすぎないか確認してください。
- つないだ機器のイコライザー機能がオフになっているか確認してください。
- 電子レンジや室内の無線LAN環境などから離れた場所に設置してください。
- BLUETOOTH機器を電球スピーカーに近づけてください。間に障害物がある場合は取り除いてください。
- ラジオやチューナーを内蔵した機器とBLUETOOTH接続すると、ラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。電球スピーカーとこれらの機器をBLUETOOTH接続でお使いいただくことはできません。
- 電球スピーカーは、TVやラジオ・チューナーなどの機器から離してお使いください。これらの機器の近くで電球スピーカーを使うと、TVやラジオなどの音声に雑音が入ることがあります。

---

### 関連項目

- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)

## 音声と映像のずれが気になる

- BLUETOOTH無線技術の特性により、音楽再生時に、送信側に比べて受信側は音がわずかに遅れて聞こえます。特に動画の音声を受信する場合、映像よりも音声が遅れて聞こえる場合があります。
- TVにつないで音声再生をする場合、TV側に映像と音声の同期機能を搭載しているものがあります。設定を有効にすると解決できる可能性がありますのでご確認ください。詳しくはお使いのTVの取扱説明書をご覧ください。
- TVにつないで音声再生をする場合は、Speaker Add機能を使用すると、映像と音声の同期が取れないことがあります。LED電球スピーカー1台で使用してください。

### 関連項目

- [BLUETOOTH接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Speaker Add機能を設定する](#)
- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)
- [BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## 照明が一定周期で赤く点滅している



- 電球スピーカーが保護モードに入っています。保護モードでは、電球スピーカーはリモコン操作を受け付けません。電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- Light Plusの着信お知らせ設定をご使用の際は、電話着信時に設定された色で点滅を行います。設定のオン／オフの切り替えや通知色の設定はLight Plusで操作できます。

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## 照明が点灯しない

---

- 照明器具の電源が入っているか確認してください。
-  WHITE/COLOR（白／カラー） /  OFF（消灯） ボタンを長く押して消灯した場合は、再度点灯するときに、電球スピーカーが操作を受け付けるまでに時間がかかります。

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## リモコン操作を受け付けない

---

- リモコンの電池に十分な残量があるか確認してください。
- 電球スピーカーのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。
- 電球スピーカーが保護モードに入っている場合があります。保護モードでは、電球スピーカーはリモコン操作を受け付けません。電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源を切り、もう一度電源を入れてください。
- Speaker Add機能を使用中は、右チャンネル（R側）の電球スピーカーはリモコン操作による音量や明るさの調整を受け付けません。左チャンネル（L側）の電球スピーカーに向けて操作してください。

E-640-100-01(2) Copyright 2020 Sony Corporation

## 機器登録（ペアリング）やBLUETOOTH接続ができない

---

- リモコンの電池に十分な残量があり、電球スピーカーを取り付けた照明器具の電源が入っているか確認してください。
- 電球スピーカーをリセットすると、iPhone/iPadと接続できなくなる場合があります。この場合は、iPhone/iPad側の電球スピーカーのペアリング情報をいったん削除して、ペアリングをやり直してください。
- Speaker Add機能で子機として使用している電球スピーカーはBLUETOOTH接続できません。Speaker Add機能を解除してからペアリングしてください。

## ワンタッチ接続（NFC）できない

---

- NFC対応機器が振動するまでNFC対応機器をリモコンのNマークに近づけたままにしてください。反応しない場合はゆっくり前後左右に動かしてください。
  - NFC対応機器のNFC機能がオンになっているか確認してください。
  - スマートフォンの画面のロックを解除してください。
  - NFC対応機器にケースを付けている場合は、ケースを外してください。
  - NFCの受信感度は、お使いの機器によって異なります。接続に何度も失敗する場合は、お使いの機器のお手元操作で接続／切断してください。
- 

### 関連項目

- [ワンタッチ（NFC）でスマートフォンと接続する](#)
- [ワンタッチ（NFC）でウォークマンと接続する（ウォークマンNFC対応モデル）](#)

## Speaker Add機能が設定できない

- Speaker Add機能を使用中は、右チャンネル（R側）の電球スピーカーはリモコン操作による音量や明るさの調整を受け付けません。左チャンネル（L側）の電球スピーカーに向けて操作してください。
- 1台のBLUETOOTH機器から、3台以上の電球スピーカーの同時再生はできません。また、複数の電球スピーカーに親機の設定を行うと、正しくSpeaker Add機能が働きません。また、このときに設定が正しく行われていないことを知らせる音声ガイダンスが流れることがあります。電球スピーカーを1台で使用するときは、必ずSpeaker Add機能を解除してください。
- 以下の状態ではSpeaker Add機能は設定できません。
  - 親機または子機がSpeaker Add機能を解除している
  - 2台の電球スピーカーが、ともに親機に設定されている
  - 子機が別の親機と接続されている（3台以上使用している場合）

このような場合は、いったんすべての電球スピーカーのSpeaker Add機能を解除して、親機と子機の設定を確認してから、もう一度Speaker Add機能を設定してください。

また、Speaker Add機能を設定した後で、親機の電球スピーカーとBLUETOOTH機器を一度接続してから使用してください。親機の電球スピーカーとBLUETOOTH機器を一度接続することで、2台の電球スピーカーの個別設定（タイマー時間など）が連動します。

- LST-SE300とLSPX-103E26のSpeaker Add機能を使用中はaptXでは再生できません。

### 関連項目

- [Speaker Add機能を設定する](#)
- [親機（左チャンネル）／子機（右チャンネル）を確認する（Speaker Add機能）](#)
- [Light Plusを使ってBLUETOOTH接続状態を確認する](#)
- [LST-SE300と他のLED電球スピーカーを接続する](#)

## Speaker Add機能でどちらの電球スピーカーを親機に設定したか、わからない

Speaker Add機能を使用中に、BLUETOOTH機器を接続した状態で、リモコンで照明を点灯／消灯すると、親機の電球スピーカーが先に反応します。同時に反応する場合は、親機の設定がされていないか、Speaker Add機能が設定されていません。

また、親機 → 子機、子機 → 親機を切り替える場合は、Speaker Add機能を解除してから行ってください。切り替わった設定を知らせる音声ガイダンスが聞こえます。

専用アプリLight Plusを使って、親機か子機かを確認することもできます。

### 関連項目

- [親機（左チャンネル）／子機（右チャンネル）を確認する（Speaker Add機能）](#)
- [Light Plusを使ってBLUETOOTH接続状態を確認する](#)

LED電球スピーカー  
LST-SE300

## Speaker Add機能で再生中に音が途切れる、音が小さい

- 電球スピーカーのBLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質（BLUETOOTHコーデック）を【SBC（接続優先）】に設定すると改善する場合があります。
- スマートフォンやiPhone/iPadのOSのアップデートによっても改善することがあります。スマートフォンやiPhone/iPadのOSは最新のバージョンにアップデートしてください。

### 関連項目

- [BLUETOOTHオーディオストリーミングの再生品質を切り替える](#)

## Light Plusについて

---

Q. Android搭載スマートフォンで、Light Plusが常時、通知バーに表示されるのを解除したい。

A. Light Plusは動作していますが非表示に設定することができます。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Q. Light Plusのバージョンを知りたい。

A. BLUETOOTH接続状態の確認画面から、**[⋮]** をタップして確認できます。詳しくは、このヘルプガイドの「[ソフトウェアバージョン確認方法について](#)」をご覧ください。

Q. LED電球スピーカー本体のバージョンを知りたい。

A. 調光画面やタイマー画面から、**[⋮]** をタップして確認できます。詳しくは、このヘルプガイドの「[ソフトウェアバージョン確認方法について](#)」をご覧ください。

Q. ソフトウェアアップデートを中断してしまった。

A. 特に問題はありません。Light Plusで「接続機器のソフトウェアアップデートがあります」のメッセージが表示される場合は、再度、アップデートを行ってください。

Q. ソフトウェアアップデートを実行したら、電球スピーカーが赤く点滅する。

A. 電球スピーカーの電源を入れ直して、再度、ソフトウェアアップデートを行ってください。

Q. iPhone/iPadを使用し、2台の電球スピーカーと接続したら以下の状態になった。

- 1台は調光（または照明の操作）ができるが、もう1台はできない
- 1台は調光ができるが音が出ない。もう1台は音は出るが調光ができない

A. BLUETOOTH機器の仕様や接続状態により、上記のような操作が可能です。

Light PlusのBLUETOOTH接続状態の確認画面で、操作したい電球スピーカーを選択してください。2台の接続がうまくいかないときは、一度すべての接続を切断し、再度接続しなおしてください。

また、2台の電球スピーカーを連動して使用する場合は、Speaker Add機能を使用してください。

Q. 電球スピーカーの電源を入れても、Light Plusに自動接続できない。

A. バックグラウンドでの実行が、**[許可しない]** に設定されている場合があります。

スマートフォンの**[設定] > [アプリと通知]** から変更してください。

詳しくは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

---

### 関連項目

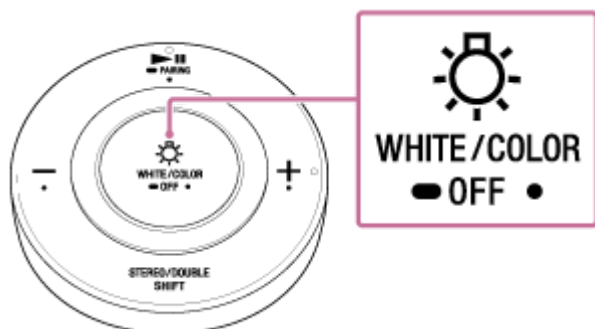
- [ソフトウェアバージョン確認方法について](#)
- [Light Plusを使ってBLUETOOTH接続状態を確認する](#)

## 電球スピーカーをリセットする

電球スピーカーが正常に動作しないときは、リセットすると症状が解決することがあります。

- 1 ④ WHITE/COLOR (白/カラー) / ② OFF (消灯) ボタンを約5秒間押して、電球スピーカーを消灯する。

BLUETOOTH接続が切断されたことを知らせる音\*が鳴ります。音が鳴ったら、いったんボタンから指を離してください。



- 2 リモコンの④ WHITE/COLOR (白/カラー) / ② OFF (消灯) ボタンを約5秒間押す。

電球スピーカーの照明が数回赤く点滅してから最大の明るさで点灯し、電球スピーカーがリセットします。

- 3 BLUETOOTH機器側で電球スピーカーのペアリング情報を削除してから、もう一度、ペアリングを行って、再度 BLUETOOTH接続する。

### ご注意

- 電球スピーカーをリセットすると、以下の情報はすべて削除されますのでご注意ください。
  - ペアリング情報
  - 明るさや色の設定
  - 音量の設定
  - Speaker Add機能および親機の設定
  - BLUETOOTHコーデックの設定
  - イコライザーの設定
  - 操作音のON/OFF設定
  - スリープタイマーの設定